

自由記述回答一覧（整理後）

注記：

- * 左から「設問ごとの通し番号」「回答（原文どおり）」「カテゴリ」を表示しています。
- * 「回答」は原文どおりの記載、「カテゴリ」は第15期組織委員会内の公開作業に便宜的に示したものです。

B-1. 学会の活動について		
【5. 満足】		
1	大學運営に関する様々な活動が活発に行われている。自分が直接にかかわるものは少ないが、その活動の様子を知るだけでも、励みになる。	活動
2	研究成果の機会も豊富にあり、かつ活発な勉強会が開催されているため。もし可能であれば、もっと中高年が学べる機会があるといいと思っています。若手・中堅を対象としたものが多いのは結構ですが、大学職員の課題はむしろ中高年以降のキャリアだと思うからです。中高年のキャリアやキャリアチェンジについて取り上げて面白いと思います。	活動
3	研究会に所属し、有意義な活動を行えているため	活動
4	あらゆる情報が得られる	情報収集
5	大学改革研究会での活動を通して様々な情報・交流の機会を得ることができるため	情報収集
6	実地調査があるので	情報収集
7	まだ入会したばかりで研究会に参加をする身ではあるが、様々な大学の事例を知ることによって業務に還元することができるため。初任でキャリア業務を担当していたことから、JUAMのような教職員の繋がりができる機会は大切だと思う。	連携・交流
8	他大学の方々から多くの学びと励ましをいただいております、また自大学内ではできない経験を積ませていただいているから。	連携・交流
9	志の高いかたがたが多く、刺激を受けているため	その他
10	自分が業務上求めるものを全てをJUAMに求めることは筋違いであり、現状、JUAMに期待していることは概ね実現できているので。	その他
【4. やや満足】		
11	ある程度の活動が出来ていると思うから。	活動
12	あまり主体的に参加できておらず、自分自身が活動しているといえる状況にないため	活動
13	職員の色々な力量を上げる活動を行っているため。	活動
14	できる範囲の中で適切に活動できている	活動
15	よく活動していると思うが、各研究会の成果が学会全体にもっと共有されるようになるとよりよいと思う。	活動
16	研究会の実施など活発に実施されていると同時に、研究会の会場が関東や関西が中心であることで、旅費等の問題で中々参加しにくいのも事実である。	活動
17	財務関係の研究会の開催が見えない。	活動
18	実践や人脈という面では満足している。研究という面では物足りなさを感じる。	活動
19	各研究会が積極的に活動している	活動
20	タイムリーな話題や興味深い内容の研究会が開催されている。職位や大学規模の大小にかかわらず、ネットワークづくりができる。	活動
21	研究集会や地区別研究会などに参加するだけでも勉強になるから。	活動
22	色々な研究会のご案内をいただけるから	活動
23	所属している研究会は定期的に開催されるため	活動
24	テーマ別、地域別の研究会がそれなりの頻度で活動できているので。	活動
25	学術研究推進事業の充実と職能団体としての明確なミッションの具現化	活動
26	若手研究者奨励制度のご支援もいただき、今後活動に力を入れていきたい。	活動
27	オンラインでの開催により、興味のある研究会に参加しやすくなった。	活動
28	幅広い研究会を行っているため	活動
29	テーマ別研究会に定期的に参加しているため	活動
30	学習会や研修会等、活発に行われていると思う。	活動

31	特段活動を行っていない会員ですが、会報や各種案内は充実していると感じます。	情報発信
32	様々な活動のご案内をいただけるのは大変有難いと思っています	情報発信
33	必要な情報提供を受けるなど有効に活用している。	情報収集
34	学内の事務職員では得られない、パワー、パッション、知識に富んだ会員との情報交換や意見交換が、自身が勤務する大学業務に活かせると感じているため。特に若い会員の方で研究や委員会など積極的に活動されている姿勢を目にすると刺激を受けます。	情報収集
35	財務研究グループに所属し自発的に活動しており、その結果として多くの知見を得ることができ、また人的交流が深まるなど入会した成果があると認識している。しかし、全般的に会員の多くの層がどちらかと言うと受け身であること、それに対して学会員に対する情報提供内容にミスマッチがあるように感じるため、「4」とした。	情報収集
36	体系的な知識の獲得、情報共有ほか、関係者とのつながりを得ることができる。	情報収集
37	他大動向の情報が得られる	情報収集
38	国及び他大学の情報を入手できるため	情報収集
39	大学職員の実務に有益な研究成果、事例発表などが活発であるため。（ただし情報を読み解いて自大学に還元するための時間が取れず、歯がゆい思いをしています）	情報収集
40	学会誌、研究集会、テーマ別研究会及びその他の情報提供が非常に参考になっています。	情報収集
41	自分が知らない新たな知見と人の繋がりを持つことができるから	連携・交流
42	研修が豊富/他大学とのつながりの機会にできる	連携・交流
43	自身の業務に関係する会員と交流出来ること	連携・交流
44	意識の高い他大学職員との交流の機会が得られるのはありがたい。地域がら、対面活動がメインになると、参加できる交流機会に限られる。	連携・交流
45	意欲次第で、プラスにもマイナスにもなります。得ようと思えば、多くの知見があるのがJUAMの良いところ。そして、人と人の繋がり、ネットワークの構築は価値があります。	連携・交流
46	学外の方との交流を深めることができるので。	連携・交流
47	普段では得られない知見、人脈が得られるため。	連携・交流
48	たくさんの研究会や研究集会など学びの機会や大学職員同士の交流の機会が得られるので。	連携・交流
49	他大学の職員との交流の場となるから	連携・交流
50	他大学の職員と交流がもて、関係が構築できる	連携・交流
51	環境が厳しくなる中で、重要度が増している職員の知識や意識の向上に役立っている。	その他
52	積極的に学修の機会を創出されているから。	その他
53	若手の育成に力を入れて取り組んでいる様子が伺える。	その他
54	事務職員としてはためになるが、会員のメリットが少ない気がする。	その他
55	大きな問題なく、運営維持されているから。	その他
56	学会という場所を提供していただいていることについて	その他
57	若手の職員の研鑽が進んできていると感じる	その他
58	大学が今後どう社会情勢と教育の担保と向き合うかを踏まえて取り組んでいる	その他
59	入会時の目的も一定程度満たし、今や友人となった方々からの刺激を受けるいい機会だから	その他
60	まだ参加して1年のため、様々な会に参加しているが通常の業務では知り得ない幅広い知識が得られる。	その他
【3.どちらともいえない】		
61	学会の活動によって得られている知識・技能、資質・能力、経験等は素晴らしく満足感を覚えているが、会費の高さや年功序列的な雰囲気には辟易としている部分もあるため。	活動
62	活動の頻度も含めて地域差を感じる部分がある	活動
63	個人的には満足しています。ただ、高等教育に関する学会として「満足」な活動ができているのかを考えると、そう言えないので3にしました。	活動
64	①活動分野に偏りがある。②JUAMでの活動を本務に活かすことが難しい。	活動
65	対面の活動が復活してきたが、暫く対面の活動がなかったので、リアリティのあるディスカッションがなかったように思う。	活動
66	まだ何も活動できていないため	活動
67	どこでどう活動したらよいかはまだわからない部分がある	活動
68	可でも不可でもない。欲を言えば、関東圏における活動が多すぎる。	活動
69	研究会活動は充実しているから	活動
70	上位管理職の研究会が少ないのかな？	活動

71	地区研究会がもう少し充実するとありがたいです	活動
72	この間参加できていないが、時に自分にも有益な研究会等があるため。	活動
73	テーマ別研究会に所属していない場合、学会で放置されている感がある。	活動
74	興味ある内容の研究会もあれば、興味のない内容の研究会もあるため。	活動
75	不満ではありませんが、もう少し活発になってもいいかと思っております。研究会や時勢に合わせたテーマを扱う企画があると嬉しいです。	活動
76	地区別研究会、テーマ別研究会の開催頻度がそれぞれの研究会によって異なるため興味・関心が高いところの活動頻度が少ないことや、その他の場面で学会の活動に参画する機会が少ないと感じるため。	活動
77	活動者（役員を含め）が固定的、属人的になっている感を持つ。組織としての拡がり薄い	運営・組織
78	実施されている企画等には満足していますが、内輪のグループが形成されているように感じられ、疎外感を感じることも多いため。	運営・組織
79	情報収集のみで、活動ができておりません。	情報収集
80	入会間もないため、種々情報収集及び勉強中。	情報収集
81	他大学の方と交流ができるので	連携・交流
82	大学職員同士が、所属を超えて協働する機会が多いため	連携・交流
83	入会して日が浅いので、答えにくい。	その他
84	積極的に関わっていないが学会の趣旨に賛同するから	その他
85	参加できていないため	その他
86	自分自身が学会を有効活用していい点プラスとできなかった。	その他
87	新型コロナウイルスの影響と中間管理職への役職変更により参加が難しくなっている。	その他
88	両極化が感じられます	その他
89	まだ入会したばかりのためどちらとも言えないため	その他
90	入会したばかりのため	その他
91	現在は積極的に関わっていないので	その他
92	満足度について意見できるほど積極的に関与できていないため、どちらともいえません	その他
93	入会してから日が浅いので現時点では判断が難しいです。	その他
94	業務に参考にならない企画内容が多くなっていると思います。	その他
95	積極的に参加できておらず、判断できないです。	その他
【2.やや不満】		
96	研究団体、職能団体として、立ち位置が不透明で、どちらの側面で判断しても水準が不十分	目的・趣旨
97	研究会等において、学会員、非学会員の区別なく開催されるケースが増えており、議論の積み重ねがない。	目的・趣旨
98	活動が活発でなくなっている。	活動
99	2極化している。超ベテランと一部若手が活動している感じ	活動
100	JUAM本体としての活動はほとんどなく、各グループ、研究会の集合体という立て付けで、これらに入らなければほとんど会員としてのサービスやメリットを受けられないという、まるで政治家の会派・派閥のような仕組みが横行しているため。	運営・組織
101	まだ特に何かの研究会等に所属していない。ただ、対面開催が増えてきており、地方にいる者としてはかなり参加しにくく良い機会を逃していると感じるので、ワーク等がないものについてはオンライン配信も併用して欲しいと思う。	運営・組織
102	特定の人物だけで運営がなされているように見えてしまう。若手を本気で取り込みたいのか、研究組織としてこの組織を維持・発展させたいのかがわからない。	運営・組織
103	研究会が実戦の経験の交流の場となっていない。	連携・交流
104	コロナ禍であったため、活動がオンラインになり参加しやすくなった一方で、会員のメリットである人脈づくりの点において希薄になったため。	連携・交流
105	教員と同じことではなく実務的・実践的なものが欲しい。会報誌は郵送せずデジタル版で十分でコスト削減も図るとよいと思います。	運営・組織
106	対面に戻したものがある	運営・組織
107	職員の地位向上団体としての役割は終わったと考える。だからといって今のままでは学術団体には到底なれない。そういう意味で学会とは言えない「学会」という名称を冠する団体として、どこを／何を目指したいのかよくわからない状態になっているように思えるから。	目的・趣旨

108	身近なテーマや地域に参加出来るものが少なく、活用できない。以前からあるグループはハードルが高く、 交わりづらい。	運営・組織
109	私大連の業務創造研修でも「避けなければいけない」とされる「経験・勘・度胸」のある役職員だけの運 営・年代層がそのまま今のJUAM運営層・各地域運営の主力となっている為。日本学術会議傘下でない自由 闊達な学会運営を継承するのであればダイバーシティインクルーシブの視点からも、若手・女性・中高年で あえて大学組織の傍流を選んだ人達から役員の役割を果たし、その経験も踏まえた運営をされたい。	目的・趣旨
110	誰でも参加できる実践的な知見を得る機会が減っている気がする。	運営・組織
【1.不満】		
111	会費が高く、研究会や総会に参加するのに旅費がかかる	コストパフォーマンス
112	扱うテーマのマンネリ化傾向（総体的な魅力の喪失）。インナーサークルのように、一部の限られた会員の みが牛耳っているように見えてしまう。	運営・組織

B-2. 学会の年会費満足度について		
【5.安い】		
1	充実した実践活動のため	活動内容
2	ご案内頂けるプログラムと比較すると安いものと思います	会員メリット
【4.やや安い】		
3	他の高等教育系の学会とほぼ金額が同じなので高くはない	妥当
4	エルダー会員なので、安くしていただいています。	年齢
5	新たな知見と人の繋がりを持つと考えるとそれほど高いとは思いません。	連携・交流
【3.適切】		
6	他の団体と比較して、適切だと思います	妥当
7	他学会と比較しても金額感是不会変わらないと思われます。	妥当
8	特段不満はない。大学マネジメント研究会、IDEの年会費も同額の10,000円であることから、比較しても高いとは思わない。	妥当
9	1年間に10,000円なので、適正ではないかと思う。	妥当
10	1万円は適切かと思います	妥当
11	可もなく不可もなし	妥当
12	会を維持していくうえで適当と考える。	妥当
13	学会費としては妥当だと思う	妥当
14	相場がわからないので、3としました。	妥当
15	相場ではないですかね	妥当
16	妥当だと思う。	妥当
17	妥当である	妥当
18	妥当であると考えます。	妥当
19	妥当ではないかと考えます。	妥当
20	妥当な価格だと思います。	妥当
21	妥当な額と思う。	妥当
22	妥当な金額だと思います	妥当
23	妥当な金額だと思います。	妥当
24	妥当な金額であると考えます。	妥当
25	妥当な金額と思います。	妥当
26	適正だと思います	妥当
27	適正だと思う	妥当
28	適切な金額だと思います。	妥当
29	適当と考えている。	妥当
30	丁度良い金額だと思います。	妥当
31	今のところ、自分で支払い可能なため。	妥当
32	これくらいなら個人で出せる	妥当
33	オンラインが活用できるようになってからは特に高いとは思わないようになりました	妥当
34	目的を持って入会しているので、年会費の高い、安いは気になりません。	妥当
35	安いとは思わないが、ある程度の自己負担を伴わないと、コミットメントも薄くなる。	妥当
36	他の会費と比べても同等額であるため	他団体比較
37	他の学会とあまり変わらない	他団体比較
38	他の学会と同水準であるため	他団体比較
39	他の学会等の年会費と比べても同額であるから	他団体比較
40	運営内容を勘案すると妥当であると思う。	活動内容
41	凡そ一般的な学会費と活動内容に見合った金額だと思うから	活動内容
42	非会員との差が分かりづらい。	会員メリット
43	会費に見合うメリットが少ない(自身も過去オンラインの研修会一回のみ参加)。論文集など忙しく、残念ながら、見る時間がない。	会員メリット
44	研究集会以外のメリット（情報提供）も欲しい。	会員メリット

45	活動の関わり具合で年会費の価値がいかにようにもなると思います。「安い」：こんなにも活動を支援してくれて、たくさんの方とお会いできて、多くの知識を得られた、経験できたならお得である。「高い」：学会誌が夏に届く、メールでのお知らせが届く、くらいのメリット(?)では高すぎる。「高い」と考える人は積極的に研究会や委員会に参加するべきです。	会員メリット
46	多数の交流があり、満足しています。	連携・交流
47	自己負担はないので個人的には費用感の感想はないが、年齢での重みづけ(若年層は安めに設定)などがあってもよい。	年齢
48	年間1万円を支払う価値がある団体だと感じるが、若手職員の給与的には少し厳しい面もあるなど感じる。	年齢
49	他の学会より少し安い	他団体
50	他学会と比較して高くはないが職員系の給与と見合っている？	他団体
51	年会費以上の様々な価値があると感じるから。	その他
52	入会したばかりのため	その他
【2.やや高い】		
53	現在の会費は個人的に支払える額としても適切だと思います。	妥当
54	冊子の送付を確認する程度になっているため、高く感じている。	活動内容
55	自分自身の問題として金額分の活用ができていと言いがたい状況のため	活動内容
56	東名阪での活動が多く、地方での活動が多くないこと。	活動内容
57	会費分を使い切れていない気がします。	活動内容
58	学会の活動が頻度が少ない部分もあるため、少し高く感じます。	活動内容
59	活動していないから	活動内容
60	活動者が固定的になっているため、会費納入に見合う対価がやや希薄になっているように感じる	活動内容
61	地区研究会には会員以外でも参加できるため	会員メリット
62	会費を支払わなくても、実際には地区研究会等参加することができるので、会費を納入しているメリットが感じられない。	会員メリット
63	定期総会費は別にかかるなど、会員(会費)のインセンティブがもう少しあるとよいと考える。	会員メリット
64	他の研究団体と比べ、少し高いように思われる。	他団体比較
65	他の学会に比較して高いような気がする。	他団体比較
66	所属大学から補助が出るため入会しているが、もし自腹だったら厳しいかと思う。	その他
67	大学の公費ではなく個人での負担のため	その他
【1.高い】		
68	一部の研究志向の会員と大多数の交流志向の会員という構成を考えたとき、後者の参加を増やして会勢獲得するのが現実的で、そのためには5000円～8000円がよいと考えたので。	活動内容
69	前述のとおり、単に職員の自己満足的な活動を支援するのが主たる使途であれば、正直半額程度が妥当と考える。	活動内容
70	活動内容に見合わない。	活動内容
71	10,000円の対価は得られていないと感じるため。世の中はもっと安価で、もっと良い経験ができるものであふれている。	活動内容
72	会の存続として必要な経費ということは理解しています。一方で各研究会など学会員以外も無償で参加できるため、学会員ではなくとも学ぶ機会などを得られることも事実です。	会員メリット
73	会員でなくても参加できる研修会がほとんどなのに、会員は10,000万円/年払ってメリットを感じない。	会員メリット
74	現在は各グループ・研究会が主催する会のほとんどは会員でなくても参加OKなものであり、会費を払う会員としてのメリットがほとんどないため。	会員メリット
75	全会員への一律的な還元が実質的に学会誌しかない。会費請求のための紙が意味もなく上質であったり、無駄な部分に金を回されている感覚がある。教育系学会では1万円は見かけるが、他の分野ではその半額以下であることも多いため、比較検証はあっても良いように思う。	会員メリット
76	地方私立大学の給与水準は高くなく、年間1万円に見合う会員向けのサービスに乏しい	会員メリット
77	定期総会・研究集会と併せて年間2万円以上は高いです。	会員メリット
78	他の学会では5000円程度であるため	他団体比較

79	今日、国家財政の悪化から気が付かないところで税負担が増しており、所得税・住民税、その他社会保障関係費の源泉徴収など、給与額面と手取りの差額、つまり可処分所得が少なくなっています。どの大学も役員たちが給与を減らし続けたこともあり、手取りのうち1万円は大きいです。5000円にしてはどうでしょうか。たくさん稼いで給与の良き時代を謳歌したシニアの会費が安く、20代の若手の負担が大きいのは大変だと思います。子育て世代も時間や金銭的な負担から敬遠しがちになっています。	その他
80	私費のため、5,000円くらいだと有り難いです。	その他
81	10,000円／年・人は高いのではないか？	その他
82	専門で研究しているわけでない、また、個人研究費があるわけでは無いので。	その他

B-4.あなたはこの学会への入会を他の人に薦めたいですか		
【5.積極的に薦めたい】		
1	私は学会のお陰で、力量の向上を図れたので。	研鑽・向上
2	自己研鑽の場となるため。非会員での参加を是と思わないため。	研鑽・向上
3	大学の管理運営に特化した学会であり、大学職員としての知識・スキルの向上に活用できるから。	研鑽・向上
4	能力・意欲の向上につながると考えるから	研鑽・向上
5	他大学との人的ネットワークは業務にも行かせる貴重な機会であり、同時に高等教育界の動きや様々な分野の知識を得られることは自身の視野の拡大にもつながるため。最近、自大学に籠り、外の状況に無関心の職員が多いように思います。プライベートや家族を重視する傾向が近年強く、キャリアパス形成、自己研鑽や自己投資というものにあまり価値が置かれな時代になってきているのかもしれませんが。	研鑽・向上
6	大学職員はやはり内向きになりやすい環境にいらっしやると感じます。JUAMのような団体に参加される職員様方は、視野が広く皆様優秀と感じ、そうした方々に触れていけば様々な知見・刺激が得られるものと確信する次第です。 賛助会員についても、学会の姿勢をよく理解して参加する限りは、双方にとって非常によい互恵関係が得られると思いますので、積極的に紹介活動を行っています。	研鑽・向上
7	大学職員としての意識高揚に役立つから	研鑽・向上
8	大学職員としての成長を促すのにとても良い組織であるから	研鑽・向上
9	大学職員として見識が広がるため	研鑽・向上
10	勉強になるため、本学の職員への会費及び活動費の補助制度を創設しました。	研鑽・向上
11	あらゆる情報が得られるから。	情報収集
12	大学職員向けの情報は少ないので、是非とも参加して、情報を得て欲しい。	情報収集
13	極めて有用かつ有効な情報や知見が得られると共に、人的ネットワークも広がるから。	情報収集
14	設置形態（国公立）、地域、規模に関わらず、高等教育の諸問題について情報共有ができる貴重な場だから	情報収集
15	全国横断的に情報共有ができる機会は職員にとって大変貴重な機会だと考えるため。	情報収集
16	大学職員ネットワークづくりや情報収集など、メリットしか感じられないため。	情報収集
17	会員の繋がりが有益で有り、学会での研究報告等は業務に参考になる。また研究発表は個人の資質向上につながっている。	連携・交流
18	学外の異なる考え方の職員との交流は大変役に立つから。	連携・交流
19	所属大学以外の職員と交流することで、考えや力量など素の自分を認識できる。	連携・交流
20	色々な大学の職員と交流できるので	連携・交流
21	他大学の職員との関係性の構築などが可能であるため。またそこでの繋がりによって成果があったため。	連携・交流
22	他大学職員との交流により、切磋琢磨できるので。	連携・交流
23	多くの人間関係を作ることができるため、積極的に入会を促したい。まずは非会員でも参加可能な地区研究会などに案内をしたい。	連携・交流
24	他大学職員とのつながりの場としては最適	連携・交流
25	高等教育への広い視座が得られること、タコつぼ化する業務に対して視野が広がること、人脈づくりができることなど、大きな意味があると考えます。	連携・交流
26	B-1-b. と同じ。	その他
27	事務職員の学術研究推進事業への参画を促すため	その他
28	自分が入会・参加して有益と感じることが多いため	その他
29	有望な若手職員に対して、大会の前に入会を勧めたり、JUAMの学会誌を貸し出したりして普及活動はしています。（ただし、なかなか新規入会までには至っておりません）	その他
30	自分の大学のことしか知らず、蛸壺的な発想をする人が多いため。	その他
【4.薦めたい】		
31	研究、実践、人脈など、自分の目的に合わせて活動できるため	研鑽・向上
32	得られることが多いから（他大学の仕事の進め方、抱える課題の共有、人脈作りなど）	研鑽・向上

33	個人的にはJUAMを通して多くの学びや気づき、また出会いがあり、とても良い活動だと思いますが、後輩に勧めてもあまり響かないようで、研究会に参加しても入会には至りませんでした。年代によって求めているものが異なるのかもしれませんが。そのため、4にしました。	研鑽・向上
34	若手職員に向けて有意義な機関・機会と考えるため	研鑽・向上
35	自己啓発に取り組む姿勢が前向きな方に薦めたい	研鑽・向上
36	自己啓発に役立つ組織であるから	研鑽・向上
37	自己研鑽には適してると思うため。	研鑽・向上
38	純粋に自己研鑽の場として捉え、本務に活かすのであれば薦めたい。	研鑽・向上
39	大学職員としてのレベルアップのため。	研鑽・向上
40	大学職員のプロフェッショナル化を支援したいから	研鑽・向上
41	他大学の職員との交流が、自身の向学心を向上させるため。	研鑽・向上
42	大学職員は多くの業務が（業者対応を除けば）学内で完結することが多い。外部環境に目を向ける意味合いとして、同業他社たる会員との交流、議論は視野を広げるためには効果的かつ刺激的なはずである。ただし、単に所属するだけでは得られるものも少なく、研鑽する意図を持った者であれば入会を勧めたいと考える。	研鑽・向上
43	自大学の業務だけをやっていると視野が狭くなりがちだと考えております。	研鑽・向上
44	自学職員の目を外部に向けさせたいため。	研鑽・向上
45	職員としての視野を広げるためには、他大学を知ることも必要だから	研鑽・向上
46	これからますます職員の能力の高度化が求められるので、学内にそういった人材が複数いてくれると、改善・改革が進めやすくなると思うので。	研鑽・向上
47	こんな機会でないと勉強できないという内容がある	研鑽・向上
48	モチベーションの高い会員（職員）が多くいらっしゃる雰囲気があるので、一生懸命大学で仕事をするには、強力な情報交換ができと思われるため。	情報収集
49	情報のソースは多い方が良いので。	情報収集
50	役立つ情報が共々多いから	情報収集
51	国及び他大学の情報を入手できるため	情報収集
52	他校のとの関係や情報は誰もが知りたいと思っていることだと思うので。	情報収集
53	他大学の職員との交流によって情報交換ができ、人脈が広がるから。	情報収集
54	大学で働く職員に必要と思われる情報に広く接する機会を持つことができるから	情報収集
55	特に地方の大学では周囲に情報交換できる大学も少なく、職員の横のつながりが持ちにくいいため、JUAMのような機会は重要である。	情報収集
56	若手、中堅にとって学びの機会、情報が得られるから。	情報収集
57	大学同士の横のつながり、情報交換は視野を広げるために重要だと思うから。	連携・交流
58	高等教育に関する幅広い知識の修得や、それを活用した課題解決力の育成、他大学の職員との交流による多角的な視野の獲得ができる。	連携・交流
59	学外の大学職員と接する機会がもてるから	連携・交流
60	人的ネットワークの構築につながる	連携・交流
61	他大学の職員と交流をする機会を得ることができるから。	連携・交流
62	他大学の方との交流、人的ネットワークの構築を体感できることは、大学職員として魅力的な学会だと感じているから。	連携・交流
63	他大学職員との交流により得られるものが大きい	連携・交流
64	大学職員の横のつながりを形成するには大変良い機会だと思います。	連携・交流
65	若手から中堅の事務職員が他の高等教育機関の職員と繋がり、様々な情報の共有が図れる。	連携・交流
66	意欲がある職員については良いが、受け身の状態の職員に勧めてもよい結果につながらない。	その他
67	仕事に関する知識を体系的に獲得したいと考える人には進められるが、そうでない人には必要性を理解してもらうのは難しい。	その他
68	大学職員として大学内業務では学べないものがあるから。	その他

69	自分で会費分をしっかりと回収することのできると考えることができる人であれば薦めたいですし、「与えてもらう」という姿勢の方は厳しいと思います。	その他
70	入会希望者が関心のあるテーマ別研究会がない場合、勧めにくい。	その他
71	年会費が高いため、躊躇するところがあります。	その他
72	地方の私立大学ではマンパワー不足の状態であり、新しいことが増える一方、これまでのことも継続して対応する必要があるなど、疲弊している状態です。経営者や管理者は末端職員の業務量などを把握できていないケースも多く、押しつけで入会を薦めることはせっかくの人財を欠いてしまうことにもなりかねません。パワーバランスなども含め、本当にできる職員さんに積極的に薦めたいと思っています。	その他
73	若手職員自体の数が少ないので、勧める機会に乏しい。	その他
【3.どちらともいえない】		
74	本学職員に学びを深めてほしい内容について薦めたいと思う。	研鑽・向上
75	管理職層の業務研究の研究会が目につかない。若手の自己研鑽にはいいと思います。学会の設立趣旨は今後の大学行政を担う行政管理職員（今の言葉なら経営職員かな？）の研究会のように認識していましたので、今まさに大学を牽引している管理職層（特に上位）の時代にあった研究が必要では？学会の活動をよく見れていないので的外れかも知れませんが。お許してください。	研鑽・向上
76	まだ活動をしていないため何とも言えませんが、多い頻度で様々な情報を共有いただけるのは非常に勉強になります。	情報収集
77	既存の会員同士の結びつきが強すぎる、机上に寄って実務があまり学べない	連携・交流
78	専門性も高い学外組織の研修が増えているなか、本学会での活動の意義に迷ってしまうため。ただ、教職員のネットワーク作りでは非常に意義があるのではないかと考える。	連携・交流
79	右も左も未だわからない新人や若手が人的ネットワークを上げたり、業務に関する様々なトピックに触れるためにはよいが、中堅やベテランレベルの職員にとっては、魅力に乏しくなっている。	連携・交流
80	年々、年齢層が高くなり中高年・高齢者男性の集まりになっています。性別や世代を超えた幅広い関係が構築できるようになるとよいと思います。	連携・交流
81	このような活動に積極的な者とそうでいない者が混在している。	その他
82	会費があるので、その人によって考えが違うため。	その他
83	各人の関心の方向性によるため	その他
84	希望する方にはお勧めします。	その他
85	興味関心は個人によるので。	その他
86	研究会等により、他部署に関係する内容があるため	その他
87	私自身が人に推薦できるほど積極的に関与していないため	その他
88	私自身は自己投資だと考えているため、必要だと思う人に薦めたい。	その他
89	自分で考えた結果であるため	その他
90	自分自身が学会から得られるものをまだ見極め中のため	その他
91	人から薦められても続かず、相談があれば活用も含めアドバイスしているため。	その他
92	本人次第。以前は一人紹介したが、今はない。あくまで本人から相談があればになるが、会の活用を自身できていないため、説明ができない。	その他
93	本来、入会の意思は本人が決めることが前提ではありますが、地方に居住していて、会費を払ってまで入会する利点を見出せない人が多いと思うため、3を選択しました。大会が関東や関西を中心に開催されるため、地方から私費で大会に参加することはハードルが高いと感じます。一方で、地区の活動のみであればわざわざ入会する必要はないと思う方が一定数いると思います。	その他
94	薦めた後に、参加する研究会等をどのように紹介したらよいか迷う	その他
95	薦める相手のニーズや適性によるので、誰にでもというわけにはいかないからです。	その他
96	前述のとおり、学会としてどこを／何を目指したいのかよくわからない状態になっているように思えるから。	その他
97	全員が研究・学会活動に関心があるわけでないので、自分から積極的には薦めず、関心のある旨、話があれば紹介する。	その他
98	内容自体は薦めたいのですが、学会活動に馴染める人とそうでない人がいるため。	その他

99	入会せずとも参加出来るプログラムも多く自己啓発という意味での加入メリットは半々かと	その他
100	メリットを感じない人がいるため。	その他
101	薦めたいが、業務の労度が高くなっており、過剰な負担になる恐れがあるため。	その他
102	国立大学職員の会員が少ない点が積極的に薦められない理由の一つです。	その他
103	どうしても国立大学のため、よほど意思のある人でないと国立大学の会員が少ないなかへ入るのは難しい。補助もないため無理のない範囲での誘い方になるため、薦めたり案内はするが、入会に至りにくい。	その他
104	若手職員を勧誘するも、メリットを十分に伝えることができないので、そこまで積極的に進めることができていない。	その他
105	入会したばかりのため	その他
106	入会してから日が浅いので現時点では判断が難しいです。	その他
【2.あまり薦めたくない】		
107	目的がただの交流だけでなく、なにかの関心あるテーマをもってでないと薦められない。	目的・趣旨
108	活動が全体的に停滞気味の中、この層に響くというターゲティングができる状況でもなく、かといってアドミニストレーター養成に資するかという点では抽象的な部分が多いため。	目的・趣旨
109	研究団体、職能団体として、立ち位置が不透明で、どちらの側面で判断しても水準が不十分	目的・趣旨
110	得られる経験と支払っている会費の額が釣り合わないため。	コストパフォーマンス
111	現段階ではメリットがほとんどないため。	会員メリット
112	結果として学会員でなくても参加できるプログラムも多く、入会によるメリットはほぼないのでは、と思っています。	会員メリット
113	本学運営に直接的な効果が見込めない	その他
114	つまるところ自身の学習意欲やネットワーク構築意欲次第ではあると思うが、全体として旧来の大学職員・行政の延長線上の活動が多い気がして、自分が担当する業務分野との関係ではあまり積極的に活動する意欲が湧いてこないため。正直、付き合いでの継続となっている。	その他
115	仕事に対する考え方が多様化している中で、本学会への入会が本人のライフワークバランスを崩しかねないので、薦めたいとまでは思わない。	その他
116	体系的な学びという点では難しいため。	その他
117	常に短したすきに長し感がある	その他
118	自身は20代前半から参加していたので、気にならないが、長年いらっしゃる方のコミュニティーや関係性ができあがっており、各研究会や定期総会の際にも身内感が垣間見えるため、新しい方(特に若手)に薦めるには、ハードルが高いと感じる	その他
119	事務職員減少などあり業務多忙となっている現状で、さらに学会入会を勧める勇気はない	その他
【1. 薦めたくない】		
120	B-2-bで記載したとおり、会員になるメリットをほとんど感じないため。	その他

C-3-b.総会・研究集会に参加した全体感想についてお聞きします。		
【5.満足】		
1	自己研鑽の場となったから。	研鑽・向上
2	テーマ以外にも情報や人脈を得ることができるから	研鑽・向上
3	実際に参加することで得られる情報や交流は貴重であり、意義深いと思っています。	研鑽・向上
4	参加者、運営者の意識の高さに触れることができるから	研鑽・向上
5	タイムリーなテーマを取り上げているため	研鑽・向上
6	時のテーマを取り上げているから知見が深まるため	研鑽・向上
7	発表する機会は非常に良い経験であるため。	個人発表
8	普段聞くことのできない発表を聞ける場が新鮮でした。	個人発表
9	どのコンテンツも満足です。	コンテンツ
10	どの集会においても、すべて得られるものがあったから	コンテンツ
11	基調講演、ワークショップ、分科会、事例紹介などコンテンツが豊富で充実しているから。	コンテンツ
12	色々なことを学べるから。	コンテンツ
13	得られる情報が多い	コンテンツ
14	会場校及び研究・研修委員会の尽力により、充実した総会・研究集会が開催されていると思うため。	コンテンツ
15	各年度における時流を捉えた基調講演、ワークショップ、分科会、研究・事例研究発表が充実している。	コンテンツ
16	講演を聴くだけでなく、ワークショップ等の参加型企画も取り入れられているので。	コンテンツ
17	準備や運営がしっかりしている。開催地が突飛な場所ではない。	運営
18	学会全体が一番大きな交流の場として機能している。	連携・交流
19	全国の大学の方々にお会いする貴重な機会であり、また、様々な業務へつながる発表を聞いたりすることができるため。	連携・交流
20	他大学との情報交換	連携・交流
21	他大学の職員との人的ネットワークにとどまらず、自大学の職員が持ち合わせていない物事の見方や意見に触れることができるから。	連携・交流
22	トピックとなっている事案や会員が課題に思っていることなどが共有できる。また対面で全国各地の方と会える機会であり、ネットワークの拡大が図れるため	連携・交流
23	毎回、収穫があった。	その他
24	オンラインまたはハイブリッドで参加できる回について参加させていただきました。本来であれば現地参加したいのですが、本学会に係る出張費は本学では自費が多く工面が難しいため、とても助かりました。	その他
【4.やや満足】		
25	個人で研鑽されている方から刺激を受けられる	研鑽・向上
26	大学職員として、現在の状況を確認する。	研鑽・向上
27	新型コロナウイルス感染症拡大以前は自己研鑽のため、積極的に参加させていただいておりました。	研鑽・向上
28	その時々で必要な情報や関心事についての情報を得られるので。	研鑽・向上
29	新たな視点のお話が聞けたこと。友人ができたこと。	研鑽・向上
30	新たな知見を得ること、ネットワークづくりに役立った。	研鑽・向上
31	様々な知見を得ることができ、人的ネットワークも広がったため	研鑽・向上
32	プログラムが多彩	コンテンツ
33	講演や事例報告等有益であった。	コンテンツ
34	参加すれば、何かしら得るものはあります。	コンテンツ
35	数少ない多くの会員と交流できる機会であること、様々な活動・研究結果に触れることができる貴重なinputの場であること、学会に所属しているのだという帰属意識が高まるものであること。	コンテンツ
36	多くの内容を聞く事が出来、多くの職員の方と接点を持てる貴重な機会であると言える	コンテンツ
37	様々なコンテンツがあり、充実感が得られる。交流の機会としても申し分ない。2日目の事例研究発表は、多少せわしない感じがする。もう少し時間をとり、深い意見交換がよい気がする。	コンテンツ
38	興味のある内容だったから。	コンテンツ
39	自分が興味あるものにしか参加していないので。	コンテンツ

40	さまざまな取り組み事例や研究発表が聞けたので	コンテンツ
41	自分の発表の仕方がヘタなせいでしょうが、質疑応答が盛り上がりませんでしたので残念です。皆さんが何を考えているのかを知ったり、高等教育全体がどのようなになっているのか、主にマネジメントの視点で見せてくことに感謝しています。他の、大学関係の学会では、ややもすれば、現実無視の学問や数値解析の結果の話しかなく、ピンポイントの専門家でないと、面白くありません。	個人発表
42	研究発表（他大学事例等）を踏まえ、自身の業務へつなげることができたため	個人発表
43	発表機会ととらえている。久々の方に会えるから。	個人発表
44	オンライン参加ができるようになって参加しやすくなったため。	運営
45	毎回、得られるものは多い。年数を重ねると久しぶりに会える方とのお話しも楽しみになる。年1回というのがちょうどよい。	連携・交流
46	1年に1回程度会員が集まれる時間を作ることは相互理解のためにも大切な時間だと考える。	連携・交流
47	新たな人脈づくりや情報提供を受けられるため。	連携・交流
48	人脈が形成できる	連携・交流
49	直接質問の機会や名刺交換による人脈づくりができた為。	連携・交流
50	新しい知見もあり、多くの学会員との話から沢山の元気をいただける。	連携・交流
51	様々な参加者との交流を通じて、新たな知見や明日への刺激を得ることができる。	連携・交流
52	総会・研究集会自体は貴重な経験ができる良い会だが、参加費が高く、コストパフォーマンスが合わないと感じているため。	コストパフォーマンス
53	学界ではあるものの実務者の育成が主軸として設立されたが、研究者育成的な要素も高まってきている。	その他
54	当時は、人事担当として研究集会に参加しました。大学職員には異動がつきものですので、所属部署に応じた研修ができることはありがたいと思っております。	その他
55	聴講したい分科会が重複することがあった。	その他
56	内容は良かったが、最後は役員や顔見知りの意見交換のような会になっているように感じた。	その他
【3.どちらともいえない】		
57	学会を楽しむ活用する役立たせるのは、プログラム上にない要素も含めてということだと思っているため、その時の状況と興味の範囲にもよって満足度は変わることから、まあそんなもんかなというところ。自分で満足させる行動ができているかどうかなので。	コンテンツ
58	内容に偏りがあり、興味・関心と必ずしも合致していない。	コンテンツ
59	分科会については、発表者の多様な問題意識に触れられることから有意義に感じる。ただ、一定のレベル感担保すべきであると思う	コンテンツ
60	いつも時間が短く感じるので、イベント毎の時間確保をお願いしたい。	運営
61	日頃交流する人々と学会で出会って情報交換する機会を活用できてない	連携・交流
62	対面で旧交を温め意見交換ができる意義がある。	連携・交流
63	会員間が積極的に意見交換できるセッションを設けてほしい。ワークショップは必ずしもその要望に沿っていないのではないかなと思うため。	連携・交流
64	交流メインのため	連携・交流
65	先進事例が獲得できたり、他大学の教職員とのネットワークが広がる。 いっぽうで、ワークショップの中には、参加者が進行の内容まで考えないといけないものもあったこともあり、「実施する」ことよりも、「内容を精査して数を減らす」ことでもいいかなと感じた。	連携・交流
66	理由ではないのですが、研究集会や総会は継続的に参加し、人的ネットワークなどができると参加する意義もより深まると思います。	連携・交流
67	昨年しか参加したことが無い、またコロナ禍の終番でまだ総会の状況が分かりません。	その他
68	他の学会に所属していないため、良し悪しの判断が難しいです	その他
69	オンラインであったため、まだよくわからない。	その他
【2.やや不満】		
70	聴講した研究成果発表にやや自分の興味に合うものが少なかった。	個人発表
71	発表内容がいまいちのものもある	個人発表
72	自己満足的な研究発表者が多く見られるため。	個人発表
73	基調講演やワークショップなどは魅力的だが、研究発表については、殆どが皮相的で深掘り不足であり、個人の趣味の域を出ないようなテーマ設定のものや、「学術」と呼ぶには程遠いレベルのものが目立つ。また、マンネリ化傾向も目立つため。	個人発表

74	机上に寄って実務を学べる機会が少ない	コンテンツ
75	一部のメンバーで盛り上がっている印象。発表者も同じ顔触れ。討論ものをもっと増やして欲しい。	コンテンツ
76	コンテンツの充実度合が年々低くなっているように感じる。グループ・研究会としてのWSや研究・事例研究発表が少なく、JUAMの活動の基盤となっているグループ・研究会の貢献度合いが低いようにも感じる。	コンテンツ
77	水準の低い発表を防止するためか、発表要旨を複数段階に分けて提出する必要があるなど、事前の負担が大きい。	運営
78	参加した時は楽しく勉強にもなっていますが、そこから自身の業務に生かしたものがあるかと言えばありません。	その他

C-3-c.研究発表者の選定についてお聞きします。		
【1.審査などはせず希望者が誰でも発表できるようにしたほうがよい】		
1	少しでも学会発表のハードルを下げるため。	ハードル軽減
2	この学会の研究発表の敷居は低いほうが良いと思う。若手など誰もが発表できる環境を作ることが重要である。	ハードル軽減
3	発表内容の評価は、事後のアンケートによって示されるので、発表の質は問わず、発表したい人間は来るものの拒まずの姿勢が大事だと思います。	ハードル軽減
4	会員であれば審査不要で発表の垣根を低くし、活躍の契機としてもらいたいです。非会員の発表については、審査があったほうが良いと思います。	ハードル軽減
5	研究発表を厳選しようとする、より発表者は減ると思われる。発表はクオリティよりもシーズであったり、研究意欲を重視し、論文誌は厳選する形でよいのではないか。	ハードル軽減
6	研究活動の質を損ねると思われるような極端な例が出ないよう「確認」はする必要はあるかもしれないが、ハードルが高くなりすぎて発表の躊躇につながるような「審査」までは必要ないのではないか。	ハードル軽減
7	発表内容への批判は開かれているべきだと思う。応募数が多すぎて対応できない場合などを除き、水準やテーマに関する審査はある程度緩くし、そのうえで発表の場で批判されるべきものはされればよいと思う。	ハードル軽減
8	「学会」という名前に拘る必要はないし、研究者（教員）に求められるレベルの論文や発表を目指さなくても良いと思います。事例報告や考察レベルの発表でも、事務職員としては充分有用な知見を得られると思います。	ハードル軽減
9	審査の手間が大きいことを懸念しました	省力化
10	JUAMの各種審査には信ぴょう性が薄い。	審査
11	研究的なものから実践報告まで幅広いので、審査することは難しい	審査
12	審査必要なもの（査読あり的な）と不必要なもの（アンデパンダン）のセクションでわけるとしてもよい。	細分化
13	そのかわり、区分をより細分化したほうがよいです。そうでないと、現段階では、かなりハードルが高くなっていたり、参加者の希望するものとギャップがあります。	細分化
14	メンバーが固定されつつある。	その他
15	発表して批判されることに意味がある。	その他
16	但し、発表は会費負担等の観点から学会員に限定すべし	その他
17	実務者の学会であることから、事例研究発表を増やした方がよいと考えます。	その他
18	希望者の発表については、研究・研修委員会である程度の整理が必要であると考え。企業の営業プレゼンやデモンストレーションが来た場合は断るのか、研究としての発表に相応しいものであれば受けるのか、カットラインを決める必要はある。	その他
【2.どちらともいえない】		
19	よほど問題のありそうな発表については不許可とできる枠組みは必要だが、それ以外についてはレベル等設けず、若い人でも気軽に事例発表できる場とするのがよい。	ハードル軽減
20	研究発表される方はもちろんそれなりに研究されている方であろうと思う。会員の多くは、研究発表という、ちょっと難しさや自身との距離を感じるのではないかと。事例紹介で充分と思う。	ハードル軽減
21	近年は様々な考えを持っている方がいるので、最低限の審査は必要ではないか。	審査
22	内容の審査の必要性を感じる一方で多くの会員の積極的な発表の場も必要と考える	審査
23	基準を元に審査されるのはわかりやすい反面、発表者が減ってしまいそうだと思うので	審査
24	一律に審査をするよりは、研究内容・テーマや経歴によって柔軟に変えても良いのではないかと思います。	審査
25	誰でも発表できることは当たり前だと思うが、やはり、内容がしっかりしているかは審査が必要かと思う。	審査
26	研究発表者はそもそも選定や審査をされているという理解ではないのだが、審査がなされているのだろうか。	審査
27	審査基準を作ってしまうとそちらに引っ張られてしまうし、それに対応する手間が増えてしまうと思います。	審査
28	学会を標榜するのであれば審査は必要ですが、研鑽の場として任意に発表できるのも良い。	細分化

29	若手からの積極的な参加を呼び掛けるのであれば、枠を作って、審査がある部門とそうでない部門があってもよい。	細分化
30	審査基準を設けると発表数が減る可能性があるため、審査する発表と、誰でも発表できるものの両方を設けた方がよい。	細分化
31	学会としてはある程度の質保証のために審査があったほうが良いと思いますが、一方、発表者を育てる視点としては誰でも発表できるほうが良いので。	細分化
32	基幹の研究発表（審査厳密）とだれでも発表できる機会を分けては？ 若手には機会をあたえることが学びになるし、上位管理職対象には発表の内容が気になります。	細分化
33	学会としては、ある程度審査したうえで研究発表する方が質を保てると思いますが、一方で、登録会員の研鑽として発表の機会を用意するのであれば、誰でも発表できるようにしたほうが良いと思うので。	細分化
34	研究発表を見たことがないため。	その他
35	中間のバランスが肝要かと思われる	その他
36	両方とも一理あるのでどちらともいえません	その他
37	職能団体か学会なのか汽水的部分があるため。	その他
38	自己満足や自己実現の手段にしていけないと思います。	その他
39	上記の回答の双方に意味があるが、時間的な制限も無視できない。	その他
40	個人的に研究発表にまで至る研究活動等はできていないので回答が難しい質問です。	その他
41	研究の質が担保できると良いと思います。審査をすることが良いのかは分かりません。	その他
42	会員の発表機会を広く設けた方がいいと思われる一方で、発表内容の一定レベルの担保は必要と思われるから。	その他
43	これまで私が参加した研究発表では、「酷い」ものは、なかったが、そのような事例が増えてくるようならば、審査もやむを得ないと思う。	その他
44	現在の発表申込件数やスケジュールなら、参加者（あるいは発表者）間の事前質問・コメント期間などを受け付けても良いかもしれません。	その他
45	現在は研究発表だけではなく、事例発表も可能になっている。事例発表の基準作りは難しいと考えるため、「どちらともいえない」を選択した。	その他
46	似ているので、医学系の学会に準じてはいかでしょうか？ただ、初心者にも参加しやすい環境は残した方がいいと思います。研究職、というわけではないので。	その他
47	研究発表の仕方について、支援をして差し上げる仕組みがあれば良いのではないのでしょうか。せっかく重要な視点、課題であっても、提示に慣れていないために、本意が伝われないことがあります。	その他
48	審査が厳しければ発表が減るし、かといって野放しでは、「それで？」というようなものが増えて、ある程度“研究”しかも理論的な部分を望む人が興味を持たなくなると思うので、バランスが難しいなと感じています。	その他
49	・学会の特色からして、判断そのものは発表者の自主性に任せ、自己判断でいいと考える。基本、希望者はだれでも発表出来る、と。 ・ただし、発表に際する基準・ガイドライン的なものをもう少し整備して、自己チェック表なども追加するなど示しておく、発表の質も保たれ、かつ、発表を躊躇している人にとっても後押しになるのでは。	その他
50	そもそも、実務家である職員が、一夜漬けでアカデミシャン宜しく「学術的な」研究発表を行なおうとすること自体に無理があるのでは。実務家としての立ち位置を再確認し、実践事例の報告・発表を行なう場にすべきでは。純粋な学術的「研究」発表がしたければ、他の学会の場で行なうべきであり、JUAMとのすみ分け・役割分担を図るべきである。	その他
51	残念ながら、大変レベルの低い内容の方も例年見受けられます。か研修の一環としてしているところもあるのか、一定のスクリーニングも検討の余地があるかもしれません。また、これも研究テーマの扱いやすさや流行りに影響されているのだと思いますが、分野の偏りがあるように思います。なるべく全体をカバーできるような様々なテーマの発表があるとよいのですが。	その他
【3.審査基準を公表し、審査した方が良い】		

52	仲良しグループではないので、ある程度の水準の維持は必須。ただし、「学会」とは言っても学位を持ついわゆる「学会」ではなく、大学職員が広く集う場として意味合いの方が強いので、発表の方法は精査すべき。たとえば、「研究」と表現するのであれば本来はその分野の学位を有する専門家が厳格な審査をすべき。そうでない場合（2023年度に発表する私もそうですが）であっても単なる「自大学事例発表」で終わることなく、それを何らかの形で事案を抽象化、理論家し、他大学でも通用するような内容での発表となるような基準と、それこそ学会のベテラン職員による査読、ピアレビューを踏まえた案件を発表対象とすべき。	質の維持
53	大学行政を担う人材として論考に対する審査の基準は必要であると考えます。	質の維持
54	希望者が誰でも発表できるようにするよりは、審査をへた方の発表を聞きたいと思いました。	質の維持
55	研究・事例研究は特に質保証の観点から審査基準を公表し審査をした方が有益であると思料する。	質の維持
56	研究発表である以上、ある程度の内容を期待したいので。	質の維持
57	審査をしない事例発表・報告と審査をする研究発表という分け方	設定方法
58	「学会」としての活動方針によるかとは思いますが。	その他
59	年会費を納めた会員ならば誰でも発表可能程度でよいと思う	その他
60	特に近年は自己満足的な発表が多いように感じられる。少なくとも、リサーチクエスションと主張くらいはリンクしている状態であることが最低限必要なのではないだろうか。可能であれば、発表の作法に関する事前研修の修了者であることを発表申込の条件にするくらいのことがあってもよいかもしれない。	その他
61	研究・事例研究発表の質にばらつきがある。「課題認識とこれからこのように研究を進めていく」だけで終わる発表は物足りない（が、事前の発表概略だけではそれがわからない）。 審査基準の設定が必要とまでは言わないまでも、少なくとも、途中経過としての研究成果、取り組みの成果が共有されるものにしていただきたい。	その他

C-3-d.あなたは総会・研究集会への参加を他の人に薦めたいですか		
【5.積極的に薦めたい】		
1	刺激を受ける。	研鑽・向上
2	見聞が広がるため	研鑽・向上
3	得られるものがあると思っているから	研鑽・向上
4	多くの気付きを得ることが出来る考えるため	研鑽・向上
5	得られる情報が多い。個人の成長につながる。	研鑽・向上
6	新たな知見や明日への刺激を得ることができる。	研鑽・向上
7	コンテンツが充実しており、大変勉強になるから。	研鑽・向上
8	「井の中の蛙」が「大海を知る」ことになるからです。	研鑽・向上
9	学内では知りえないテーマでの研究に触れることができるから。	研鑽・向上
10	研究会に所属していない場合、唯一ともいえる活動機会であるため	研鑽・向上
11	大学業界が置かれている現状をリアルに知るために、大学職員の発表は積極的に耳を傾けるべきと考えているから	研鑽・向上
12	発表準備の中で新たな気づきがあり、発表後の質疑応答で学び・人的交流が発生するので、研究・実践する方は発表することを薦めたい	研鑽・向上
13	C-3-c. の回答に加え、自大学や自身の取組等の発表に対し、他者からコメントをいただくことは貴重な機会であると考えられるから。	研鑽・向上
14	内容が充実していて、どの年代でも満足できる内容だと思うので。ただ、初めて参加する場合はサポートしたり説明する人が必要になると思います。	研鑽・向上
15	大学に関わる人はすべて、得られるものがある研究集会だと思っています。毎年、社内で広報活動をして誘っていますが、徐々に参加人数が増えてきました。	研鑽・向上
16	タイムリーなテーマを取り上げているため	テーマ
17	しっかりした運営の元、自由闊達さが現れているため。	運営
18	他大学職員と交流できる機会にできるから。	連携・交流
19	対面で会えるのであれば全国の大学職員と繋がる機会があるため。	連携・交流
20	他の優秀な人と知り合うことで、自分の仕事に対するモチベーションが大幅にアップした経験から。また、ここで構築した人脈により、大いに助けられたから。	連携・交流
21	トピックとなっている事案や課題に思っていることの糸口が見つかることがある。また対面で全国各地の方と会え、また文科省の方などともフランクに話ができる。	連携・交流
22	とにかく楽しいから	その他
23	参加したことのない職員には参加して貰って意見を聴きたい。	その他
24	会員として活動しているのであればぜひハードルの低いアウトプットの場として活用してほしい。	その他
25	できるだけ参加したい、またいつかは発表してみたいと思っています。職場内では研究集会の案内が開始された時点で、有望な同僚・後輩にも入会と参加を勧めたりはしています。	その他
【4.薦めたい】		
26	自らの勉強になるため。	研鑽・向上
27	自身の研鑽にもつながるため	研鑽・向上
28	参加してためになる催しが多い	研鑽・向上
29	最新の情報を収集することができるため	研鑽・向上
30	さまざまな取り組み事例や研究発表が聞けたので	研鑽・向上
31	大学職員としての視野が広がり、自己研鑽の場となるため。	研鑽・向上
32	情報収集や他大学教職員とのつながりを作ることができるので。	研鑽・向上
33	各大学における改革実践事例など、職員の頑張りに触れることができるので。	研鑽・向上
34	研究を自己満足で終わらせない、人に発表すると中身が洗練されると思いますが？	研鑽・向上
35	情報のソースは多い方が良い。参加費については、自己負担なので交通費や業務との兼ね合いになるので、無理は言えないが。	研鑽・向上
36	非会員の方（特に新人職員）には、自大学の環境だけでなく、他大学の取り組みについても学べる機会として参加を促していきたい。	研鑽・向上

37	同じ大学職員でも、こういった見方で取り組んでいる人がいるよ、ここまで深く考えている人がいるよ、こういった事で困っていて実践したり迷ったりしている人がいるよということを、2日間で総覧的に接触できる機会は貴重	研鑽・向上
38	テーマによる	テーマ
39	テーマによるので、一概に薦める、薦めないとは言えない。	テーマ
40	他大学職員との交流機会となるため。	連携・交流
41	新たな人脈づくりに有効だと思うから。	連携・交流
42	学びの場でもあり、無形資産である人的つながりを生めるから	連携・交流
43	年会費+参加費が高いこともあり、躊躇します。	コスト
44	私は地方在住者であるため、旅費+参加費を考えると積極的に薦められる状況にはない。	コスト
45	薦めたいが、コンテンツや会場の場所にもよる。地方での実施は積極的に参加してもらいたい。交通事情などを考慮すると不便であるが、その地方の事情や課題を取り扱った基調講演やWSなどもあって、他の地域からの参加者の意見やコメントが糧になることもあるため。	コスト
46	会員・非会員を問わず積極的に進めたいが、参加しやすいよう一般公開（無料）の講演などあるとよいと思います。	コスト
47	対面で若手職員におおいに薦めたい。ただし遠方会場であれば「予算面」「勤怠（働き方改革!?)」などで調整が必要。	コスト
48	学会として発展してもらいたいから	その他
49	これも同様で、主体性のある会員には薦めたい。	その他
50	全般的には有益と思うが、研究発表やワークショップのレベルにムラがあるため。	その他
51	積極的に薦めたいと思いますが、一人で行くのはちょっとハードルが高いかもしれません（既にコミュニティが出来上がっている感があるので）	その他
【3.どちらともいえない】		
52	テーマによる。	テーマ
53	テーマや個人個人の志向にもよるので一概にいえません	テーマ
54	関心のあるテーマになっているのであれば、勧めたい。	テーマ
55	他人の興味と自分の興味が一致しないことが多いため。	テーマ
56	本学職員が学びを深められる内容であれば薦めたいと思う。	テーマ
57	対面での交流がより促進されることを望みます。	連携・交流
58	交流する意思がないと参加してもしんどいと思われる。	連携・交流
59	総会、研究集会に係る出張費が自費若しくは代表者のみしか支給されないので、近場の大学で開催される場合や、オンライン参加が可能なものについては積極的に進めたい。	費用・負担
60	個人の興味関心によるため。	その他
61	全校と同じく研究集会に参加したことが無いため。	その他
62	まだ、全体を見通せていないので何とも言えないが、他の学会と少し雰囲気が違う気がした。	その他
63	紀要のようなある種の自由さはあると思うので、若手が軽めの報告をしたい場合などには薦めたい。	その他
64	なかには効果的な研究会があるが、ただ状況報告をするだけの研究会もあり、可もなく不可もなくという感じ。	その他
65	準備の事も考えると本業である仕事を終えてから、作業が必要であることが予測できるため本人の意向によると思います。	その他
66	薦めたくないというより、参加しても得るものがあまり多くない状態になっていると思われるため積極的な参加を促しにくい（参加はしてもいいと思うがあくまでも本人の判断）、というのが正確なところ。	その他
【2.あまり薦めたくない】		
67	聴講した発表・講演にはそこまで学びが得られないものも散見された。（ウェルビーイングの講演は良かったです）	テーマ
68	得られる経験と参加費とが釣り合っていないため。	コストパフォーマンス
69	他大学とのネットワーク構築以上のメリットを、他の方にお伝え出来ないのが現状であるため。	コストパフォーマンス
70	目的をなんとするかによる。	その他

71	あえて日本学術会議傘下に入らない学会かつ、発表に慣れない方々も多いのなら、修士課程以上の者がコーディネートする発表準備講座受講修了者は自由にポスターセッションから参加できるなどの事などを検討頂きたい。そして聴衆も「日々の職務で蓄積した課題への解決案のアウトプット」に対してダメ出しや批判ベース・各大学でのやり方で何が悪いなどと話の腰を折らない姿勢での参加を学会として要請して、心理的安全性と寺崎昌男先生も仰せになる「大学業界人の知恵の共有の場」として、研究集会が発展・進化していく事を望みます。	その他
【1. 薦めたくない】		
72	先述のとおり。	その他

C-4-a.総会・研究集会において1～2年のうちに研究発表をしたいという希望をお持ちですか		
【1.希望する】		
1	気軽さは一つの売りなので、何かしら形に残す意味では意義があると思う。	
2	現在の取り組みの成果として、いつかはまとめたいとの思いはありますが、先行事例や先行研究の調査など「研究」活動はあまり行えていません。	
3	毎年発表しています。	
4	今年度の研究集会で、研究会として発表予定です。	
5	事例発表が中心となるが、機会があれば挑戦していきたい。	
6	内部監査の分野について研究発表ができればと思っています。	
7	時間があれば、自身の興味分野に関する研究発表が出来れば自信になると思うから。	
8	とにかく、何かを発信し続ける、アウトプットを示し続けることは、自らの成長にもつながります。	
9	2023年度エントリー中（財務研究グループとして）。2024年度は未定だが場合によっては個人でエントリーしてもよいと考えている。	
【2.希望しない】		
10	余裕がない	
11	異動で現在中高にいるため	
12	年齢的に後進に道を譲る。	
13	学会という性格上、研究に力を入れることも理解できるが、事務職員の学会であり、大学の運営や大学として実施したいことをやり遂げる方法を探ることも大切だと思っています。だからこそ、未だに日本学術会議が認める学会に入っていないのではないのでしょうか。研究をと求めるのであれば、大学教育学会や高等教育学会で発表してそちらの教員と切磋琢磨する方法もあると思います。	
14	どんな方がいるのからよくわからない	
15	研究成果がオープンアクセスに対応していないから	
16	学校法人の方針として、こういった学会で発表することは認められない。	
【3.わからない】		
17	研究発表をするにあたる専門性や知見がまだ不足しているなど感じるため、5年後くらいにはできる自信がほしいな—と思います。	
18	現在試行中の事務系職員の制度がしっかりと機能した際には、事例として他の高等教育機関の参考となることもあるかもしれない。	
19	発表としたいという気持ちはあるが、何の研究をしたらよいかわからない。自分自身の持ち味を発揮できそうな共同研究があれば、積極的に参加したい。	
20	日々研究しないといけないとは思いつつ、論文として形にするまで進められず、他者に検討してもらうほどのところまでいくのはなかなか大変なので、したいという思いと希望は別。	
21	具体的な発表テーマが設定できない	
22	意欲やテーマ発見ができれば希望する。	
23	特定の事象について研究していないので。	
24	発表してみたいが題材が具体的に見つからない	
25	特に自主的に発表したいと思うコンテンツはない。	
26	発表できそうかことがあれば行うが、ハードルが高く感じる	
27	他大学の参考になるような実践事例が出てくれば、是非発表したい。	
28	自分がどの研究会に所属するか検討中だし、発表できるテーマを持てるかわからない。	
29	自分が他者に伝えることのできる研究をしているか？はなはだ疑問、何か成果物があれば発表したい。	
30	発表したいと思いつつ、日々の業務に忙殺されており、これというテーマがなかなかなく悩ましい所です。	
31	発表するほどのことをしていないし、大学の協力なしで参加しているためそういったことは難しいと考える	
32	してみたいものの、テーマ設定を持っていないことや、どれくらいのクオリティで発表されているのかわからないため。	
33	以前と比較して業務が複雑化、煩雑化しており、かつ私生活も変化の多い時期なので、興味はあるが、現実問題発表は難しい。	
34	発表できるほどの実践・実績を持っていないため。	

35	成果ができれば発表したいが、そこまでできていないため	
36	現在、情報収集のため。	
37	研究発表は他の学会で行っており、事例報告という形で若手職員をサポートしたい	
38	したいが・・・・・・・・時間がない。	
39	余裕があれば発表をしたいという気持ち。	
40	ハードルが高く、日常業務が忙しく、そのような時間を取ることが難しい。	
41	研究発表といわれるとハードルが高い感じがする。十分な発表ができるか時間的・内容的に不安がある	
42	未定	
43	その時点で行なっている業務の内容によっても変わってくる。	
44	自分が発表するのであれば、まずは論稿の作成に力点を置く。	

C-4-b.総会・研究集会の開催について、回数、場所、時期、規模、方法などを含めて、全般的にご意見があれば自由に記述してください。

1	今後も、総会・研究集会の開催を対面方式に加えてオンライン形式を希望します。	実施方法
2	今のとおり全国区で様々な地域の会場、規模はよいとおもいます。また、距離や時間の関係から関心はあっても対面参加が難しいこともありますので、ハイブリッドは続けていただきたいです。オンライン参加を可能とすれば、育児休職中などの教職員にも門戸が開けると思います。	実施方法
3	総会は年1回オンラインでもよいと思います。日本高等教育学会のように研究集会の一部にだれでも気軽に参加できる一般公開シンポジウムのような企画があれば、本会の活動を世間に広く知ってもらい、新たな会員を増やす機会になるのではないかと思います。	実施方法
4	現在の形で特に問題は感じません。プログラムをもう少し早く発表していただくと予定が立てやすくなります。他の学会と比べて、総会・研究集会の開催運営はとても良いと思います。	実施方法
5	総会・研究集会で会場参加であってもPC持参との事でしたが、それを見てオンライン参加の選択を優先してしまいましたが、できれば会場参加の場合はPC不要であれば助かります。	実施方法
6	毎年、参加したいと思っていますが、業務の関係や家庭の事情であまり参加できておりません。対面とオンラインが併用されるようになって参加しやすくなっているとは思いますが。	実施方法
7	夏季の比較的繁忙期でない時期に設定されていてよい。ハイブリッド方式を取り入れたことは、自費参加者にとってはとてもありがたいことだと思います。	実施方法
8	現在の方法で参加しにくい感じはしていない。対面で参加できない場合でも一部オンライン参加が可能な方法を残しておいていただけるとありがたい。	実施方法
9	実施日程に特に不満はないが、現在の総会・研究集会は対面とし、オンラインベースの「実践報告集会」などを企画してみても良いのではないか。	実施方法
10	一大学での実施はマンパワー的に困難な状況であるので、近隣の数大学が協同で実施するなど、新たな開催形式を模索した方がよいと思われる。	実施方法
11	遠隔地の在住者や、家庭の事情等で会場に足を運べない会員のために、オンラインの併用を今後も拡大すべき。	実施方法
12	可能なもののみでも、引き続き、オンライン、ハイブリッドで実施いただけるとありがたいです。	実施方法
13	オンデマンドスタイルにして、ストックしていつでもどこでも閲覧できるようにしてもよい。	実施方法
14	オンラインで誰でも気軽に視聴のみできる仕組みがあれば、参加しやすい。	実施方法
15	オンライン参加があるのは遠方の際や時間的都合が難しい際に助かる	実施方法
16	ICTの活用により遠隔と対面のハイブリット開催を希望します。	実施方法
17	オンラインと対面のハイブリッド形式は今後も継続してほしい。	実施方法
18	オンラインを併用していただけるのはたいへんありがたいです。	実施方法
19	研究会等の映像を録画して後日視聴できるようにしてほしい。	実施方法
20	対面とオンライン併用で継続していただきたい。	実施方法
21	オンラインによる参加、視聴（傍聴）、参加（ハイブリッド運営）は今後ずっと必要になるだろう。一方で都内での開催は対面希望が増えると思われるため、おもてなしが大変である。かつてほどではないにせよ会場校負担が大きく、今後は学会員の多い会場として成立する大学のリストアップをし、定期的に会場校責任者間でやり取りをする必要がある。	実施方法
22	遠方から参加ができるようオンラインと対面のハイブリッドで毎回、実施してほしい。多くの人々が集まりやすい場所は東京近郊だと思います。	実施方法
23	やはり大都市(東京・大阪・名古屋・福岡・札幌など)が移動の面から考えると、参加しやすいように思う。会場校には相当な負担になると思われるため、どうにか工夫して負担軽減が出来ないかと思う(なかなかアイデアは浮かびませんが)。	開催地
24	場所のみ、最近関東圏での開催が多い、もっと地方での開催を増やした方がいいと感じる	開催地
25	東京は隔年で行い、東京以外の地域でも隔年で開催されることが望ましいと思います。	開催地
26	関東と関西のみでよいと思う。（ただし、希望大学があれば、全国どこでもよい）	開催地
27	一定の周期で各地域を巡回することも選択肢に入るように思います。	開催地
28	人里離れた場所で合宿方式で開催するのもあって良いかもしれない。	開催地
29	日常業務で行くことが無い遠隔地での対面開催を希望します。	開催地
30	開催したことがない県で開催してほしい。	開催地

31	関東圏に集中しないようにしてほしい。	開催地
32	地方でも参加しやすいと助かります。	開催地
33	鹿児島での開催を希望	開催地
34	現在の方法（9月上旬、関東と関東以外の交互）は、とてもよいので維持して欲しい	開催地
35	いろんな場所で開催して頂きたい。いろんな大学や地域を見てみたい。webも並行して実施して頂ければ有難い	開催地
36	年に1回で、場所も固定化せずに、東日本・西日本とそれぞれ開催できれば良い。 オンラインでの参加（対面と同時開催）も同時に進めていく必要があると考える。	回数/場所/方法
37	回数：年1回（現行通り）・場所：様々な地区の大学で実施できると良いと思います・時期：9月初旬（現行通り）・規模と方法：省力化したり、参加者の協力を得ながら省力化することで、会場の選択肢を増やせると良いと思います	回数/場所/時期
38	回数は、会場校の負担等を考慮すると年1回が妥当であると思われる。場所は、地方での開催の場合、会場校を引き受けることができる大学が限られている。時期は、個人的には、これまで通り9月初旬が良い。規模・方法は、対面・オンライン併用型が一般化するのではないか。	回数/場所
39	年1回、現在の時期の開催が適切であると考え。各種対応で難しい面があるとは思いますが、出来れば各地バランスよく開催出来るのが理想とは思う。	回数/場所
40	回数：年に1回（変更なし）、場所：できれば東京と別の地区を交互のほうが望ましいです、時期：9月上旬（変更なし）、方法：実施に労力がかかるので、さらに省力化して会場校含め実施側の負担を軽くできるようにしたいです。当日の協力者を募集したり、研究会から担当者を出してもらったりしても良いのではないかと思います。	回数/方法
41	機会を増やすという意味では、規模を小さくしつつ、それでいて全国的な季節ごとの研究集会（夏の研究集会、冬の研究集会…など）を設けてもよいかもしれない。あるいは、一年に一回だけ学会誌を発行するというのではなく、随時募集でオンライン刊行をしていくという形式も考えられる。	回数/方法
42	今の年1回が現実的だと思う。これよりも多いと1回の参加者が減る可能性も高いし、開催の手間（負担）が大きすぎる。2年に1度だと、都合により、1回出席できないと、間隔が空きすぎてしまう。	回数
43	研究集会は、職務都合上、夏や秋に参加しづらい部署（入試・教務・学生支援系）の事も考え、6～7月に追加設定しても良いのではと思う。総会は学会の運営上、年に一度でやむを得ないと存じます。	回数
44	毎年1回開催するのであれば、その時々流行を追うプログラムと流行によって動かない業務の部分（会計、人事、設置、カリキュラムなど）のプログラムがあっても良いのかと思います。	回数
45	9月の総会はそのままでよくて、あと1回くらい（年度末とか）に小規模でも開催したらよいかと思います。	回数
46	各大学の基礎体力が弱くなってくると、これまでのような規模は難しいように思う。	規模
47	もっと大規模でもよいと思います（サテライト会場も設けるとか）。その代わり運営が大変なため、外部の支援を入れるべきとも思います。	規模
48	会場校の負担を軽減する。	会場校負担
49	本件については特段ないが、毎年度準備から実施に至るまで、実施校の負担は相当と思われるので、敬意を表したい。	会場校負担
50	形式だけの会ならば、やめても良いのではないかと。規程にとらわれ、会としての事務を廻すだけなら、会員のニーズから遠ざかるばかりで、会員数の減少は止まらないと思う。	その他
51	参加費分の価値を会員に提供できているか、お考えいただけると幸いです。それができないのであればロープライス戦略をとることも一考かと思います。	その他
52	ワークショップは前提知識が他の参加者と異なる場合など、気後れしてしまうこともある。	その他
53	発表者が特定大学に偏りがあるのは、是正してもいいかもしれません。	その他
54	コロナの影響で対面が減って、人脈作りが難しい。	その他
55	一部の方のみのような感触を受けている。	その他
56	入会したばかりのため、わかりません。	その他
57	現在のタイミングに慣れているので、特に変更の希望はありません。	維持
58	年イチのこれに参加することで「学会活動している」という位置を維持できている人もいると思うので、現状でよいと思います。	維持
59	色々と苦労を重ねながら改良を加えており、研究・研修委員会の皆さま、会場校には頭の下がる思いです。	維持
60	総会を通じて多くの大学に実際に足を運べるのが、総会参加のインセンティブになっている。	維持

61	みなさん、責任もってやってくれていますので、感謝のみです。	維持
62	現状のペースでいいと思います。	維持
63	現在のままでいいと思います。	維持
64	現状で良いと思います	維持
65	現在のままでよい。	維持
66	適正だと思います。	維持
67	現状でよい。	維持
68	現状でよい	維持

D-2-b. 「加入してみたい研究会はない」と回答された方への質問です。設置されれば良いと思う研究会・テーマがあればお書きください（任意）

1	学術情報発信について（海外学術雑誌、オープンサイエンス、オープンアクセス等）	学術
2	教務や教職に関する研究会などがあれば良いと思う。	教務
3	教学系	教学
4	大学評価・IR	評価／IR
5	入試	入試
6	国際交流、留学生	グローバル
7	高等教育の国際化、キャリア支援	グローバル/ キャリア教育
8	「働き方」研究会	職員キャリア
9	大学職員研究グループにおいて、中高年のキャリア（キャリアチェンジ）に関するテーマがあると思います。	職員キャリア
10	キャリア教育に関する研究会	キャリア教育
11	キャリア・学生支援研究会	キャリア教育/ 学生支援
12	業務上、研究推進・支援研究会に興味があるが、研究集会でワークショップに参加してがっかりした。全く意味のない集まりであった。	研究
13	私学における研究と社会実装	研究
14	学生募集、広報	学生募集/広 報
15	自治体等の官学連携で地域発展、観光と教育の融合などの研究テーマ	産学官・地域 連携
16	地域連携	産学官・地域 連携
17	18歳人口80万人時代の大学経営を考えるような研究会	大学経営
18	18歳人口が116万人から80万人へ減少する18年後における私立大学同士の合併・統合を考える研究会。	大学経営
19	学校法人経営関係、リスク管理関連、ダイバーシティ関連、学校広報、ファンドレイジング	大学経営
20	ハラスメント問題研究会	ハラスメント
21	横断的な研究会	その他
22	テーマがないというより、クローズドのコミュニティができあがっているイメージがあって参加することのハードルが高く感じる	その他
23	どれも有意義だと思うが、立場上バックアップに回る時期だと思っているので。	その他
24	まだ、名称のイメージと具体的な内容が合致していない研究会が沢山あるため、何とも言えません。	その他
25	むしろ増やすべきではないと思います。それなりの統廃合をすすめるのがよいと思います。	その他
26	加入はしていないが、テーマに応じて参加して交流をしているので特に問題ない。	その他
27	会員次第だと思います。	その他
28	近くにこれらで実際の活動の様子お聞ける人がいないのでないだけ。公開研究会ではなくて普段の実際の様子を聞ける人がいて、自分の興味と合致すれば考える。	その他
29	研究会の構成を見直していただきたい。テーマが重複していたり、今日的な研究会名でないものもあり、活動が分かりにくい、見えにくいです。	その他
30	研究会開催のイベントに興味がある際に出席しているので、自身で加入したいものは、特にない。	その他
31	最近加入したため、研究会に参加するのはちょっとハードルが高いのと、それぞれの研究会でどのような活動をされているのかあまり理解できていない。	その他

D-3-b.(ご自身が)もっとも積極的に活動している研究会の活動についてお聞きします。		
【5.満足】		
1	テーマを深く掘り下げて議論できるため	研鑽・向上
2	以前より何度か参加しており、他大学の施設やコンセプトを伺えることは大変興味深いものと考えている	研鑽・向上
3	事例紹介のみならず1つの研究テーマに向かって単年度、または複数年度かけて研究され、他大学・団体の職員との交流及び情報交換が出来るため。	研鑽・向上
4	そこには業務に活かせる学びがあるから。	研鑽・向上
5	時代にあった研究テーマを取り上げているため	研鑽・向上
6	毎月の研究会で、知識をブラッシュアップできているため。	研鑽・向上
7	「見える化」を趣旨としており、時節ごとにタイムリーなテーマ設定ができるため	研鑽・向上
8	積極的に他校の見学ができていますし、参加者も多く、人脈も確実に増えているため。	連携・交流
9	実際に他の大学に行けるので	その他
10	研究会活動は無料で行えるため、コストは時間だけとなり、その投入分の価値は十二分に得られていると感じているため。	その他
【4.やや満足】		
11	充実して研究できているため。	研鑽・向上
12	関心のあるテーマを扱っているのです。	研鑽・向上
13	定期的に学習・勉強会を開催することで、学びを深める機会を得られている。	研鑽・向上
14	登録会員の意見を聞きながらテーマ設定をしており、新規登録者も少しずつ増えているので、活動内容にはある程度満足しています。	研鑽・向上
15	メンバーが少ない	組織・運営
16	参画の当初から従前からの会員と分け隔てなく接してくれている。またグループを代表する活動にも、グループの代表として送り出してもらうなど、自由に活動させてもらっている。 しかし、活動されている方が特定の方に偏っているなど、まだ自分が認識できていない課題がある様に感じしており、「4」とした。	組織・運営
17	若手を中心に活発的に活動されております。参加できていないのが残念です。	活動
【3.どちらともいえない】		
18	世話役の後任者が探せない	組織・運営
19	設立当初の熱い思いのようなものはなくなっている。良いか悪いかはわからない。	組織・運営
20	世話人の人数が少ないため、活発に活動することが難しく十分な活動ができていないように思う。	組織・運営
21	私自身も取りまとめ役の方もご多用や心身故障で研究会運営に注力出来ない時期があったのでやむを得ない。	組織・運営
22	研究会のテーマは、タイムリーだが、研究会の回数が、以前よりも、大幅に減ってしまった。世話人の方も忙しいので、仕方がないと思いますが・・・。	組織・運営
23	実務未経験者にはテーマが難しいことも多いが、都度、学びはあると考えているため。	研鑽・向上
24	休眠状態です。	その他
25	現在活動を停止中である	その他
26	ほとんど関わっていないため	その他
27	長期間所属し、何回か発表などをしているから。	その他
28	大都市圏での開催が多いので、地方だと参加は難しい	その他
【2.やや不満】		
29	コロナ禍を挟み、また、メンバーが本務業務で多忙のあまり、都合がたたない点。 (メンバー増員…とくに若手やシニアを求めたい)。	組織・運営

D-3-c.(ご自身が)もっとも積極的に活動している研究会の活動を他の会員に薦めたいですか。		
【5.積極的に薦めたい】		
1	勉強になる。	研鑽・向上
2	経験が積めるので	研鑽・向上
3	業務でも活用できるから	研鑽・向上
4	シンプルかつ学びが深いと考えるため	研鑽・向上
5	多くの資質・能力の修得、姿勢・態度の変容、ネットワークの構築が無料で得られるため。	連携・交流
6	他大を知ること、人脈を作ることを積極的に行って欲しいから	連携・交流
7	財務に関する学外のネットワークはほとんど存在せず、横のつながりをつくるため、経理部員が視野を広げるためには格好の機会であると考えているため。	連携・交流
8	現役の人事担当者に薦めたい	その他
9	近年、新規入会者が減っており、今後を考えると積極的に増員を図りたいと考えています。	その他
10	同じテーマについて研究する職員は増やしたいが継続的に参加してくれる参加者は少ない。	その他
11	女子大は大学の中でもとくに現在、困難を抱えているところが多いため。大学の一形態として、今後高等教育を展開していく機関として可能性がないのか、あるのか。女子大学以外にも関連すると思われるので、多くの方々とも追究していきたい。	その他
12	高等教育研究の領域でも、女子大学・短期大学の閉学が再び増加してきました。 アフーマティブアクションの実践の場として、どのような生き残りを行ない、同窓生にも支援を求めるのか（寄付だけでなく、ブランディングとしても）。 共学の立場からもその運営手腕・手法は学ぶ所が多いため、より多くの方々の参加が好ましいと思うため。	その他
【4. 薦めたい】		
13	人事の事を知っていて損はないから。	研鑽・向上
14	会員以外の者であるが自己啓発として同行させている	研鑽・向上
15	タイムリーなテーマで研究会を開催しており、情報交換もできるため。	その他
16	業務担当者以外でも関心のある者に薦めたい	その他
17	若手を中心に活発的に活動されております。	その他
【3.どちらともいえない】		
18	実際に活動している登録者が少なく、そのため、今後の運営体制に若干不安があるので。	組織・運営
19	希望があればお願いします。	その他
20	距離的な制約が有り、参加が難しい。オンライン等が活発になれと思います。	その他
21	薦めたいが、大学経営を意識することから人を選ぶというか、関心が持てるかによるから。	その他
22	活発な活動ができてるとはいいがたい。財務問題とタイトルがついていることにより、財務担当でないのと抵抗感を感じる人がいるため	その他
【2.あまり薦めたくない】		
23	休眠状態です。	その他
24	固定メンバーで研究しているため。	その他
25	現状得られるものはそこまで多くない。	その他

D-3-d. (ご自身が) もっとも積極的に活動している研究会以外に設置されればよいと思う研究会があればお書きください。

1	すでに各研究会で、研究会時にとりあげられる題材にも含まれているが、「学生・学習支援（障がい学生含）」「キャリア支援」のくくりもあると分かりやすい。	学生/キャリア
2	キャリア支援系	キャリア
3	学生支援研究会、教務支援研究会、国際化推進研究会、情報化推進研究会、など大学事務の業務領域ごとの研究会	学生/教務/国際/情報
4	教職課程に係る研究会	教務
5	学術情報	学術
6	学生生活支援に関する研究会	学生支援
7	高大連携、エンロールマネジメントについて意見交換できる研究会があればよいと思います。	高大連携／EM
8	国際交流関係	国際
9	中退対策の研究会、女子学生支援の研究会（女子大学とは異なる）	中退・女子学生支援
10	入試広報の研究会、大学法制の研究会、学生厚生研究会	広報/学生
11	広報・情報管理について	広報/情報
12	情報化推進・業務改善	情報/業務改善
13	生成系AI研究会、情報システム関連研究会、入試研究会、広報研究会	生成AI/情報/入試広報
14	リスク管理(民法・労働法関係)に関する研究会、届出等の勉強会ができる研究会	リスク管理/設置申請
15	大学設置研究会	設置申請
16	大学設置認可や中長期計画、もっというと「大学企画部門研究会」があれば良いと思います。	設置申請/行政・企画
17	大学行政・ガバナンス研究	行政・ガバナンス
18	18歳人口が116万人から80万人へ減少する18年後における私立大学同士の合併・統合を考える研究会。	行政・ガバナンス
19	大学マネジメント研究会 (人・業務のマネジメント・活力ある未来を創造できる学ぶ組織へのマネジメント方法)	行政・ガバナンス
20	既存の研究会で間に合うかもしれませんが、ガバナンス、経営者人材の育成、合併・解散などを取り扱う研究会があればいいと思います。	行政・ガバナンス
21	マネジメント全般に関心があるので、特定の分野に絞らない広い観点で大学全体のマネジメントを体系的に考えることができる研究会があっても面白いと考える。	行政・ガバナンス
22	少子化問題等	少子化
23	高等教育政策についての研究会。これは事務組織研究グループの範疇でしょうか。分からずに回答してすいません。	高等教育政策
24	内部監査研究会	内部監査
25	入会するかどうかはわからないが、ハラスメントに関する研究会は時代的にあってもいいと思う	ハラスメント
26	シニア向け、女性向け、管理職向け、女性管理職向けなど、立場や性差を意識したもの。	その他
27	若手中心など参加者を属性で限定している会が目につく。これはいかがなものか。	その他
28	むしろ増やすべきではないと思います。それなりの統廃合をすすめるのがよいと思います。	その他
29	2023年7月1日に発足された「働き方」研究会には興味があり、参加したいと思っています。 他の研究会は、Webサイトを見ても、参加者の構成員や直近の活動状況が分からないこともあり、途中からの参加は、少しだけ行いにくいようにも感じています。	その他

E-1.地区研究会について、コメントがあれば自由に記述してください。		
1	地区研究会の世話人の志向が強くなっているように思う。近畿地区などは時勢に合わせたテーマとなっており、文科省の方をお招きしたり有用に感じるが、一部の地区は国際の内容に偏っていたりする。研究会に属していない者には唯一の参加可能な研究会なので、もう少し幅広いテーマを扱ってほしい。また、大変だとは思いますが、可能であればオンライン参加も可能としてほしい。	テーマ
2	地区ごとにいろいろなテーマ設定がなされていて、研究会自体も興味深いものが多いと思います。	テーマ
3	自分が全く気付いていないテーマを設定していただいている場合も多く、非常に参考になります。	テーマ
4	関東地区研究会はテーマが面白く、よく参加させて頂きました。	テーマ
5	それぞれの地区の特色が出ており、参加してとても面白いです。	テーマ
6	以前のような時宜に適った企画をしてほしい	テーマ
7	どのテーマも興味深く、楽しかった。	テーマ
8	所属五地区以外の研究会に参加したのだが、地区ごとに企画の特色があり、大変興味深かった。	企画
9	財務問題、財務研究、大学経営見える化の違いが分からない。	企画
10	ハイキング企画の復活を希望します。	企画
11	ある程度近い大学とコンタクトできるため、似たような課題を共有しやすい。	連携・交流
12	同じ地域の方と既知を得ることができる集まりは有難い。	連携・交流
13	最近は勤務日以外は通院などや体力回復の日とせざるを得なく、なかなか参加出来ずに申し訳なく思っています。ハイレックスなどの開催でオンラインでの参加も可能であればより参加させていただきやすくなりますのでご検討頂ければと存じます。	組織・運営
14	オンラインの場合はかなりの頻度で参加でき、また東京などの研究会にも参加できるが、地域がら、対面の場合、自身の地域の研究会にもなかなか参加できない（参加する場合、1泊2日が必須となる）	組織・運営
15	（近畿地区研究会）精力的に活動されているようで、イベント案内も定期的に行われており、且つ、オンラインのイベントも多いため、できるだけ参加したいとは思っています。	組織・運営
16	地区別研究会も世話人・運営が疲弊しつつある。共同実施やテーマ別研究会とのコラボ企画などで参加者を増やし、運営経験者を増やす必要がある。	組織・運営
17	オンライン会議が修練されていく今後を見据えて、地区研究会同士または地区研究会とテーマ別研究会の連携が必要と感じている。	組織・運営
18	研究会によってはZoom等に対応頂けていてとてもありがたいです。	組織・運営
19	コロナ禍でオンラインになったことにより参加できる機会が増えた。	組織・運営
20	同地区でも県外となるので、時間的に参加しにくいことが多い。	組織・運営
21	まだ地区別研究会のことをよく理解していないためよくわからないが、こういった地区別研究会の在り方、研究会実施時のアナウンス方法についても再考の余地があるのかもしれないと考える。	情報発信
22	現在の居住が「東北地区」ですが、入会当初は「中部・北陸地区」で、これまでの活動実績からすると主に「中部・北陸地区」での内容となりますので、本項目（E）においては、その前提で回答しております。	その他
23	地区別研究会は地域性が出ます。首都圏はともかくとして、それ以外の地区は、テーマ別研究会に参加するよりも、地区別研究会の活動に参加することが多いのではないかと思います。	その他
24	研究会の準備等世話人の皆様には大変感謝しております。引き続き学会活動に頑張ってくださいと思います。	その他
25	いつも開催を楽しみにしていますし、所属大学の職員にも積極的に参加を薦めています。	その他
26	複数回参加を予定していたが、コロナの影響（自身の罹患を含む）にて叶わなかった。	その他
27	参加してみたいが、距離があったり、休日だと、何となく見送ってしまう。	その他
28	お世話をする理事や講師の交通費や謝礼を会費で賄ってほしいです。	その他
29	企画、実行に尽力される担当理事、役員の方に感謝しています	その他
30	地区別研究会はいい人が揃っており、とても面白いです。	その他
31	運営のみなさま、いつもありがとうございます。	その他
32	7/1の近畿地区研究会に参加しました。	その他
33	場所と都合や参加基準が合わなかったため	その他
34	家族を持ってから参加が難しくなった。	その他
35	コロナを契機に衰退している気がする	その他
36	いつもありがとうございます。	その他
37	運営者の努力に感謝します	その他
38	身近で開催されるのでよい	その他

39	参加できる日時がない。	その他
40	今後参加を検討している	その他
41	世話人の立場です。	その他
42	正直入りづらい。	その他
43	継続が大切。	その他

E-3-a.参加した経験から地区別研究会の活動について（自由記述）		
1	情報交換とネットワークが形成出来てよかった	テーマ
2	大学間交流の機会として貴重であると思う	テーマ
3	オンラインの場合、他の地区の研究会との連携も可能であり、可能性の広がりを感じる。一方、同様のコンテンツを複数の地区で実施したりすることもあり、一時期食傷気味だったかもしれない。今後、対面とオンラインのバランスがとれていくと、よい感じになるかもしれない。	テーマ
4	いつも参加してくれている方々に深く感謝申し上げます。年に1回はハイブリッドまたはオンラインでの運営を計画し、地理的・時間的制約の多い会員にも参加していただける環境づくりが必要であるとする。	テーマ
5	オンラインで近畿地区研究会のシンポジウムに参加できたことはたいへんありがたかった。	テーマ
6	課題設定から、当日運営まで、素晴らしい人たちで運営されています。	テーマ
7	自主的に運営していただいている会員の皆さんには感謝しています。	企画・運営
8	いつも誰でも参加しやすい内容・日時等で検討している。	企画・運営
9	様々な資質・能力の修得、人的ネットワークが無料で得られるため。	連携・交流
10	活動時間がとれない	連携・交流
11	開催回数が少ない	組織・運営
12	研究会活動の減少	組織・運営
13	活動が少ない。	組織・運営
14	単位の研究会	組織・運営
15	1回だけ参加しましたが、どうやら普段の研究会とは趣旨が異なるような回だったようなので、総合的には判断できません。	組織・運営
16	楽しかったが、なんとなくベテランだけで盛り上がっているような雰囲気を感じることもあった。	組織・運営
17	所属地区の活動に対する評価は難しいので、「3」を選択した。	研鑽・向上
18	地区別研究会の運営に当たっている方には頭が下がります。	その他
19	コロナ禍の影響を受け、今後の活性化に期待しています。	その他
20	関東地区以外は積極的に活動していると言い難い。	その他
21	機会とタイミングが合えば積極的に参加したい	その他
22	リクレーションのような雰囲気があった。	その他
23	関東地区の研究会が残念な状況である。	その他
24	若い人ばかりで居心地が悪かった。	その他
25	それぞれの地区で特色があるため	その他
26	準備含めありがとうございます。	その他
27	研究会後の懇談会が楽しいので	その他
28	以前に比べ開催回数が少ない	その他
29	近年は参加していない。	その他

E-3-b.地区別研究会の活動を他の会員に薦めたいですか。		
【5.積極的に薦めたい】		
1	文科行政に係る内容など重要かつ大きな内容が良く取り上げれており学びが多いため	情報収集
2	様々な資質・能力の修得、人的ネットワークが無料で得られるため、薦めやすい。	研鑽・向上
3	新たな知識の修得と他大学職員とのネットワーク形成のため	研鑽・向上
4	新たな知見や明日への刺激を得ることができる。	研鑽・向上
5	他者から刺激を受け、胃の中の蛙にならないように。	研鑽・向上
6	他大学の情報が得られる。	情報収集
7	同じ地域の大学職員間で、地域に存在する問題を共有すべきと考えているため	連携・交流
8	職員ネットワークづくり、情報収集に大変有益であるため	連携・交流
9	同じ地区の会員と既知を得ることができるから。	連携・交流
10	個別の交流に繋がる可能性が高いので。	連携・交流
11	人脈形成にも役立つため	連携・交流
12	若手向けや非会員向けを行っていて、とりあえず学会を知ってもらうにはハードルが高くないかと思うので	その他
13	自組織の中堅・若手職員などにも参加を進めたいとは思っています。	その他
14	地方にいと、ここが一番重要で面白いため。	その他
15	それぞれの地区で特色があるため	その他
16	アットホームなので。	その他
17	テーマ別の理由と同様	その他
18	活性化のため。	その他
19	必ず役立つから	その他
【4.薦めたい】		
20	地方独特の悩みや業務に関する知識などは、その地域の学会員に相談できるなどのメリットが得やすい。地域によっては保守的な大学もあり、会員とはいえあまり強く薦められない場合もある。しかし、ひと昔前ならいざ知らず、現在の状況を考慮すると、業務に関する知識、技能の支援は得やすいこともあり、積極的に薦めたい。	連携・交流
21	やはり知識のアップデート及び人脈づくりに活用できるためです。	連携・交流
22	自身の研鑽、また人的ネットワークの構築につながるため	連携・交流
23	自らの勉強のためと他大学の方との人脈を増やすため	連携・交流
24	参加することで他大学職員との交流はできるが、上記に記載したとおり、プライベートの週末をつぶすことになるため、参加をすすめるににくい。	連携・交流
25	大学職員として他大学職員とのネットワークは様々な業務や学びに有用だから。	連携・交流
26	まずは、近隣の大学間で、横の繋がりを持つことが大事だから	連携・交流
27	テーマ別の研究会とは、違う人たちと交流できる。	連携・交流
28	他大学教職員とのネットワーク構築のため	連携・交流
29	情報交換とネットワークが形成出来る	連携・交流
30	タイムリーなテーマが多いし、近隣他大学の職員と交流できる。	連携・交流
31	研究会後の懇談会が楽しいので	連携・交流
32	興味があるテーマがあれば、積極的に薦めたい。	テーマ
33	研究会のテーマがその会員の関心にあえば。	テーマ
34	おもしろい内容や魅力的なものが多いから	テーマ
35	先の「薦めたいですか」の回答に同じ。	その他
36	地元で交通費をかけずに参加できるから	その他
【3.どちらともいえない】		
37	興味・関心のあるテーマであれば参加したいと思う。	テーマ
38	テーマや内容による	テーマ

39	地区研究会と全体（日本）の研究会の区別がよくわかっていません？案内に〇〇地区おあるものですか？ ほぼ、〇〇地区のように見えています？？ 申し訳ありません！	その他
40	地区によってはとても工夫されていると思いますが、一部は偏っていると感じるため。	その他
41	相談があればアドバイスして参加を促している。	その他
42	現時点では判断しかねます。	その他
43	しばらく参加していない	その他
44	本人に任せていいから。	その他
45	E-3-b. と同じ。	その他
【2.あまり薦めたくない】		
46	企画が地区担当理事等の独断にすぎない。	企画

E-4.今後、地区別研究会において取り上げてほしいテーマがあれば記述してください。		
1	教職協同	行政・ガバナンス
2	定員割れ問題	行政・ガバナンス
3	昨今ニュースになっている女子大の今後について。	行政・ガバナンス
4	大学全体のマネジメントの在り方を体系的に考えるといったテーマ。	行政・ガバナンス
5	18歳人口が減る中、地域全体で協議した上での定員減の在り方ができないか	行政・ガバナンス
6	私学法改正に伴う寄附行為変更(理事、監事及び評議員の報酬を含む)について	行政・ガバナンス
7	大学間同士の合併統合を本気で考えなければ、大学は生き残ることができず共倒れになるだけであること。	行政・ガバナンス
8	地方の大学は慢性的に人材不足であるため、あらゆるテーマで大学の業務支援をいただけるとありがたい。特に高等教育行政による1年後や2年後に変更となる制度や新しくなる制度などの分かりやすい解説は、タイパを大切にする若い職員にとってもありがたいと思われる。	行政・ガバナンス
9	少子化問題	行政・ガバナンス
10	キャリア教育と広義のエンロールメント・マネジメント、キャリア教育と高大連携	EM
11	高大接続（入口）と就職（出口）に関すること	EM
12	学術情報発信	学術
13	奨学金、学生の課外活動、学生のモチベーションUP、学生の満足度UP	学生
14	100分授業や105分授業の導入について	教務
15	広報やブランド強化について	広報
16	大学同士の連携	連携
17	地域連携や他大学との連携	連携
18	リスク管理、労働環境(ブラックなところ)の改善事例など	リスク／労務
19	働き方改革、事務DX化の好事例、大学独自の勉強会の運営、	業務改善等
20	AIを活用した業務改善	業務改善等
21	職員の成長に必要なこと	人材育成
22	「大学職員のこれから」についての意見交換、FD・SDや学生支援に関わるテーマ	その他
23	特定の方ではなく事務職員なら誰でも興味・関心が持てる内容。	その他
24	私学法改正対応などの旬の話題。みんなが今困っているテーマに期待したい。	その他
25	女性活躍、私立学校法改正、リスクリテラシー教育とリカレント教育	その他
26	テーマ別研究会とのコラボ企画	その他
27	上位管理職が参加したくなるテーマ？	その他
28	地域の特徴に合わせたテーマの設定をお願いいたします。	その他
29	地区の特性にもよるが、都市部で成功した体験や事例を地方にも展開しやすいような事例発表。	その他
30	近畿地区では、比較的タイムリーな話題を数多く取り上げていただいているように思いますので、ありがたいと思っています。	その他
31	現状のままでよいと思います。	その他

E-5.地区別研究会の活動について要望等がありましたら自由にお書きください。		
1	開催時期について、6-7月に固めず、一年を通じてまんべんなく開催してほしい。	時期・回数
2	理事によって温度差がある（開催回数が増減する）ため、なるべく一定機会は開催すべきだと思います。	時期・回数
3	いつもありがとうございます。土曜日午後開催が多いのですが、最近は土曜休みの大学も多く平日午後開催はいかがでしょうか？	時期・回数
4	大学行政、マネジメントの高度化にあたって職員としての役割発揮にかかる取り組み、活動を継続いただきたいと存じます。	企画・運営
5	オンラインで実施してほしい。	企画・運営
6	ハイブリッドでの対応をして欲しい	企画・運営
7	オンラインでの活動も一部残してもらいたい。	企画・運営
8	遠方の地区研究会への参加は、オンラインであれば参加しやすい。	企画・運営
9	地区別は原則対面活動の方がよいと考えていますが、コロナ禍でオンライン開催した経験から、各地区別研究会主催のオンライン全国研究会のようなものがあると、学会活動が活発になるのではないかと考えた。	企画・運営
10	単発・一過性のイベントばかりで、「研究」活動がなされているように思えないのが気になります。	企画・運営
11	単発で案内が来るので、計画が立てにくく、結果参加できない。年間の予定を早めに知らせてほしい。	企画・運営
12	他の学会（例えばキャリア教育学会など）の運営手法を見習い、勉強会レベルのゆるやかな人的つながりが出来る会合運営を自主的に増やしてはと存じます	企画・運営
13	特定の方ではなく事務職員なら誰でも興味・関心が持てる内容で検討していきたい。	企画・運営
14	私立大学のベテラン・中堅の職員の方を中心に精力的に活動しておられ、若手育成や親睦なども意識された企画も多いようですので、自職場の有望な中堅・若手の職員にも機会があれば参加してもらいたいとは思っています。	その他
15	会員になった後、定款など読まないの、自分が地区別研究会に所属しているなど認識が無い会員がいる。これは世話人が悪いという話になるだろうが、世話人も新規入会者のアナウンスがないため、定期的に事務局便りを閲覧し、市ヶ谷オフィスとの密な連携などを構築していないと新しい会員への連絡をできないでいる。入会時に事務局から簡単に解説をいただけるとありがたい。地区別研究会から様々学会のことを伝達できるため、最初のつながりを是非検討いただきたい。	その他
16	協力したいので、いつでも声をかけてください。	その他
17	とくにありません。いつもありがとうございます。	その他
18	活動をリードしておられる会員の方に敬意を表します。頑張れ地区研究会！	その他
19	当方からは特にありません。地区別研究会の代表者の意見に賛同いたします。	その他
20	継続して活動してほしい。	その他
21	会員数が少なく運営が厳しい地区をどう支えるか？が課題です。	その他
22	若手の研究発表会や勉強会それを発展させた他の地区との発表会や勉強会	その他
23	特に初めて参加した方へのフォローを大切にして今後の参加に繋げる活動を重視して欲しい	その他
24	地区別研究会の概要、活動内容をより分かりやすく説明していくことが必要なのではないかと考える。	その他
25	テーマ別研究会よりは、扱うテーマが広範であるため、新規会員の方が参加しやすい土壌があるかと思えます。	その他
26	集まりやすい場所はやはりアクセスの容易な東京です。アクセスが容易、交通の利便性がよいということは人が集まりやすいということです。	その他

F-1.学会誌についてどの程度読んでいますか。コメントがあれば自由に記述してください		
1	示唆のある研究や事例が多く、勉強になっています。	研鑽・向上
2	仕事をする上での判断において、参考になることがあるので。	研鑽・向上
3	様々な取り組みを拝見できる少ない機会なので、重宝している。	研鑽・向上
4	研究テーマには、業務の改善に役立つものや実践的な取り組みが多く、参考になっています。	研鑽・向上
5	タイトルで興味あるものを呼んでいる。	興味関心
6	興味のあるところをピックアップして読んでいます	興味関心
7	読むのはどうしても興味の方向性に偏ってしまいがち	興味関心
8	興味関心がないものについては、なかなか読もうとしないため	興味関心
9	興味に従い読んでいる。その敵に良くなくても、何かの機会にそのようなテーマの発表があったことが記憶にあれば、遡って読むこともある。	興味関心
10	一定の担保は必要ですが、もう少し実務よりのものも認めてとよいと考えます。	テーマ
11	詳細な分析に優れ、重厚な内容な論文も多い印象がありますが、それゆえに自分の関わる実務との距離感を感じてしまう一面もありました。	テーマ
12	直近の研究集会での個々の研究発表内容がメインで収録されているが、そのこと自体が学会誌の魅力を低減させている。理由としては、そもそもの発表内容自体に魅力がないこと（マンネリ化）、発表者（投稿者）が一部の会員に限られていることなどが挙げられる。北海道から沖縄まで、各大学に所属する会員諸氏による個々の大学でのホットで魅力ある最近の取り組み事例の紹介（リレー形式）、個々の職場紹介など、若手からベテランまで幅広い層の会員が親しみやすく、読みたい、知りたいと思えるような内容をもっと検討してもいいのでは。	テーマ
13	オープンアクセスにして欲しい	利便性
14	あれば読むが、PDF配布でもよいと思う。	利便性
15	会員ページにPDFがあるので助かります。とても。	利便性
16	ペーパーレスの観点から冊子は廃止しても良いのではと考えます。	利便性
17	出費をおさえるため、オンライン化を検討してもよいのではないか。	利便性
18	もはや郵送する必要はなく、オンラインデータで配布でよいのではないか。	利便性
19	PDF版、ネット閲覧（PCなどでよめる）できるとよいです（できるのだったら申し訳ありません）。	利便性
20	じっくり読み解く時間的余裕がないのが現状です。	時間
21	なかなかゆっくり読む時間が取れないのが課題です	時間
22	入会したばかりのため	その他
23	いつも限られたリソースで発行までこぎつけていただき、感謝です。	その他
24	タイトルは全部目を通しています。	その他
25	とても丁寧に作られており信頼ができる。	その他
26	掲載プロセスに携わる者として、顛末を責任を持って見守るため。	その他
27	「学会」にこだわるのかどうかは、改めて公開の場で議論があっても良いと思う。	その他

F-3. 学会誌総頁数について、コメントがあれば自由に記述してください。（任意）		
1	紙・冊子の郵送は不要（PDF、サイトなどペーパーレスで参照するため）	利便性
2	Web版だけでいいかもしれません。出版費、郵送費、この業務への人手を省き、他へまわす	利便性
3	webでこと足りるのではないか。経費とお手間もかかっているでしょうし、何の目的、誰のためにされているのがよくわからない。 発表を自大学の教員にぶつけて、どうなったのか、といった話ならば是非拝聴したい。	利便性
4	ページ数は気にしていない。中身次第。	内容
5	適切なページ数である	適切
6	内容を吟味して、もう少し薄くして、回数を増やす。ただし、PDF配布とする。Webだとみる手間があり、見ないが、PDFだとみると思う。	その他
7	入会したばかりのため、わかりません。	その他
8	ほとんど読んでいないため申し訳ございません。	その他
9	多くの方の研究や実践を拝見し、いつもなるほどと感じております。	その他
10	本学会の特色としては、もっと事例研究・発表が多くても良いのではないかと思います。	その他
11	編集作業、広告掲載企業開拓など、裏側の業務を知らない学会員に担当する機会をもってもらいたい。	その他

F-4.学会誌の掲載論文等の文字数（400×30枚以内）について（自由記述）		
1	図表のスペースは別で割けるので量は問題ないと思います	適切
2	文字数が少ないと論文とは言えない。多いと作るのが大変。	適切
3	限られた中で論述する力を養うことは必要。また学会誌に掛けられる経費も青天井ではないので、それぞれの学会で無理のない形で続けていく工夫は必要かと思います。	適切
4	入会したばかりのため、わかりません。	適切
5	ほとんど読んでいないため申し訳ございません。	その他
6	気軽に投稿できるような内容も増えればよいと思う	その他
7	投稿側の立場で、字数制限が厳しすぎて適切な論証ができない	その他
8	一度掲載していただきましたが、自身のためにとても勉強になりました。	その他
9	他学会の学術発表的なもののほかに、実務的な簡潔明瞭、要点発表のようなものがあったもいいのかな？	その他
10	前述のように、「論文」としての掲載件数を減らし、「論文」以外の記事の充実を図った方がいいのではないかな。	その他
11	掲載論文の文字数（ページ数）は目安でよいのではないかな。論文の内容によっては30枚では少ないこともあるだろう。	その他
12	定期的に発行するのであれば、地区別やテーマ別の研究会にそれぞれ当番をふって、コンテンツを提出してもらうのはいかがでしょう。	その他

F-5.学会誌の掲載論文等の質を総合的に評価してください（理由：自由記述）		
1	掲載論文等の質を評価できる人は学会にどれほどいらっしゃいますか。この質問の回答をもってどのような判断をされるのか、イメージが出来ません。 質が高い：大学院などで一定の知識や経験をお持ちの方の投稿、 質が低い：勤務校の事例紹介程度の投稿、といったところでしょうか。 質も大切ではありますが、学会誌への投稿を希望する方には、その機会がある程度与えられることが大切であると考えます。（当然、掲載にあたっての注意などがあっての話ですが）	基準・評価
2	査読を担当している側の意見として、査読者の水準があまりにもバラバラなので、査読の意味をなさないことが多いように感じる。その点において、実際に掲載される論文等はそれなりに精査・修正がなされているのだろうが、より適切な水準で査読が実施できるようになれば、これまで以上に質の高い論文等を掲載することも可能になるものと考えられる。	基準・評価
3	質を評価できるスキルを持ち合わせていないが、査読について毎回のようにSNSなどに不満やクレームが上がっているのを見ると、建設的ではないと感じる。かつ、学術的な活動を行うための人材が不足している状況なのだと認識している。	基準・評価
4	論文の質を何で測るかの基準は大切。学会の目的に照らしてそれが遂行し得る内容としての評価が必要なのではないか。	基準・評価
5	学会関係者以外の者が読めば、論文等の基準が把握できない	基準・評価
6	「大学行政・管理」の多様な領域を理論的かつ実践的に研究することを通し、全国の大学横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるという本会の設立趣旨から考えれば、「論文」の奨励も大切かと思いますが、職員は研究者ではないので、相互の啓発に資する発表であれば、必要以上に質を重視する必要はないのではないかと思います。	実践・実務
7	学術論文様式の者が多いため、大学行政、マネジメント実務者として有用性が低いように感じる場合があります。学会のミッション達成のための学会誌として位置づけるのであれば、実践事例報告、政策研究など、多様な論考の受入れが必要に思われます（学術論文は大学紀要等、投稿先は数多くあります）。	実践・実務
8	学会誌として、一定の質が求められることは理解します。しかし、事務職員の学会であるのだから、論文ではなく、事例報告が中心でも良いと考えます。	実践・実務
9	理論的・実践的な取り組みをする目的に沿った査読基準を検討すべき	実践・実務
10	過去の学会誌にも目をとりましたが、以前とくらべて学会誌の質が向上していると思います。編集委員会や査読者のみなさまのご尽力かと思います。	高い・向上
11	質が高い分、ハードルも高い気がします。	高い・向上
12	大学院で研究している執筆者が増えたから	高い・向上
13	全てに目を通していないので参考程度であるが、恐らく総合的に質は高いのだと考えるが、もっと全体テーマに沿ったものを集めるなど、編集により工夫があっても良いと考える。	その他
14	大学行政管理学会誌はアカデミックというより、実践、現場感覚が強いと捉えられているようです。今後質の担保、向上に貢献できるとうれしいです。	その他
15	学会誌掲載の論文としての質をどう保証していくのか、大きな課題だと思いますが、アイデアはありません。	その他
16	質を判断できない。論文事始めなど、初心者への案内が欲しい。	その他
17	純粋な論文が少なく、学会誌としての質の担保が課題と感じる。	その他
18	事務職員の紀要的存在と考えればそこまで酷くはないと思う	その他
19	ほとんど読んでいないため申し訳ございません。	その他
20	皆さんよく研究されており感心しています	その他
21	入会したばかりのため、わかりません。	その他
22	全てを読んでいるわけではないため	その他
23	レベルの差が大きいと思う。	その他

F-6. 学会誌満足度について、コメントがあれば自由に記述してください。（任意）

1	教員と異なり、論文執筆についての訓練を受けていないことで、投稿論文に気が引けている感じがする。この点を解消できればと思う。昨年度もこのような議論が日曜日の集会で議論されていて、同感しました。	質・内容
2	学会誌、論文としての質を伴っているのか、疑問に思うことがある	質・内容
3	経験値の理論化・手法化という点で極めて物足りない。	質・内容
4	論文は、学術的側面からの査読になっており、論文で取り扱うテーマが狭くなっている	テーマ
5	きちんと調べたわけではないが、教育に偏っている気はする。	テーマ
6	自分にとっての必要から、今読むか今後読むか、読まないで終わるかだが、これらの積み重ねは生きた資産として重要なので、必要とする会員が必要なワードで検索して、その時に求めるテーマに出会えることが大切だと思います。	利便性
7	主に自身の興味関心に対して、新規性や有用性の観点でやや物足りなく感じる時がある。	有用性/新規性
8	学術論文様式の者が多いため、大学行政、マネジメント実務者として有用性が低いように感じる場合があります。学会のミッション達成のための学会誌として位置づけるのであれば、実践事例報告、政策研究など、多様な論考の受入れが必要に思われます（学術論文は大学紀要等、投稿先は数多くあります）。	有用性
9	大半の会員にとって参考になる論文が少なく、自身の転職のための実績づくりに活用されている気がする。	有用性
10	会員の方で研究を熱心にされている方がどのような分野で頑張っておられるのか、楽しみにしております。	満足
11	大学職員に関する論文はここが一番多いと思います。まさに自分の研究テーマなので、注目しています。	満足
12	査読はされているので問題ないかと思う。	満足
13	ほとんど読んでいないため申し訳ございません。	その他
14	入会したばかりのため、わかりません。	その他
15	全てを読んでいるわけではないため	その他

F-7. 学会誌への投稿について、コメントがあれば自由に記述してください。（任意）

1	会員になった時には、やはり何か発表の機会を得られれば、会員としてのインセンティブになると思います。若手・中堅が周りの先達により研究会等での発表・投稿を勧め背中を押してあげる機会がよりあると良いと思いました。	奨励・アドバイス
2	投稿の仕方や、研究手法、論文の書き方や読み方が分からない人向けに、何か文面が欲しい。自分で全部やれば良いが、大変な人もいますので、あると助かると思います。	奨励・アドバイス
3	学会誌編集委員会から投稿に関する説明会や相談会を定期的を実施してもらいたい。	奨励・アドバイス
4	投稿するためには、大学院などで論文を執筆のトレーニングを積む必要があり簡単ではありません。しかし、それは学会誌を名乗る以上避けてはとおれないので、苦しいところですが、がんばっていくしかないと思います。	質
5	会員でありながら学会誌への投稿をしないことで、申し訳ないとおもっているが、特定テーマを探り、学会発表ができる質のものを作成する力がない。	質
6	興味はありますが株式会社であるためやや部外者感がある点、求められる質、かかる時間が読めないので一歩踏み出せません	質
7	内容の質（レベル）が高ければ投稿しにくいかな？	質
8	事例報告などで他大学の参考となる取組については差支えない範囲で掲載してもらおうとありがたく思います。	事例
9	幅広く投稿してほしいと思う反面、学会誌の質も維持しなければならないので、難しい問題だと感じる。	その他
10	学校法人の内部監査分野についてのテーマで将来的には投稿してみたいと思っています。	その他
11	ハードルが高そうなイメージがありなかなか手が出ない	その他
12	自身の取組みは論文に値するとは考えていない。	その他

F-8.学会誌へのあり方について意見があれば自由に記入してください。		
1	投稿から刊行まで時間がかかりすぎるように思います。夏頃投稿し、年度末に刊行のスケジュールが望ましいと感じます。	スケジュール
2	論稿部分と読み物的なものとうまく組み合わせられれば手に取りやすいかもしれない	コンテンツ
3	学会発表を遠い道のりの彼方にあるものとの印象を払拭できるよう、身近な事例や話題についても研究対象になり得る、シーズは日常の業務に存在していることを、分かってもらえる方策が必要なのではないかと思ひます。何か小難しく考えなくてはいけないような認識を持たれているようにも感じます。	コンテンツ
4	各研究会の事例報告集の方が大半の参加者の役に立つのではないか。	コンテンツ
5	どの程度よまれているか、紙媒体で冊子を作成する必要性など要検討。	アクセス
6	オープンソース化を希望します。	アクセス
7	オンライン環境で過去のバックナンバーも含めて閲覧できるシステムを望む	アクセス
8	J-stageへの掲載を検討している学会もありますが、その動きはないのでしょうか。	アクセス
9	F-8は「学術誌」一般のことでしょうか。本「学会誌」の誤記でしょうか。後者であればオープンアクセスにしてもらえればと思います。	アクセス
10	テキストデータやPDFでタイトルや内容が検索できれば、今後の活用(過去との比較、テーマ重複)もできるのでは無いかと思います。	DB
11	査読を受けたことがあります。大変勉強になりました。発表と違い、かなりきっちりと精査されるものだと考えております。	査読/アクセス
12	査読を担当している側の意見として、査読者の水準があまりにもバラバラなので、査読の意味をなさないことが多いように感じる。査読者の水準を上げるための努力が必要である。	査読
13	査読のありかた、発刊媒体のありかた	査読/アクセス
14	ドライブ経由の電子版はよく拝見していますが、紙媒体はまったくもって不要です。届いた瞬間、ごみ箱に捨てています。印刷費と送付費は予算の空費になっていませんか。また、オープンアクセスをご検討いただけますと幸いです。	媒体/アクセス
15	発行を継続して頂きたい。紙媒体発行形態は今後10年ほどは残して頂きたい。電子リポジトリへの配信も継続して頂きたい。若手～年配職員が激務の中でも質の高い論文を執筆する為の学ぶ機会（大学院進学機会）がここ10年で大幅に低下する中、アカデミックライティング予備講座を開講するなど執筆者を増やす努力を学会としても支援願いたい。	媒体/奨励・アドバイス
16	紙・冊子の郵送は不要（PDF、サイトなどペーパーレスで参照するため）	媒体
17	とても分厚く大きいため、保管に困ってしまった。可能ならば電子化いただいたり、サイズをA4判に修正いただけると助かります。	媒体
18	現在のままでも良いが、紙での発行がなくなる場合など広告収入方法などを検討する時期に来ていると思われる。	媒体
19	学会誌の広告収入は学会財政にとって重要であるため、学会誌は紙媒体で発行する方が良い。	媒体
20	冊子体ではなく、PDFでも良いように思う。	媒体
21	最近は学内の研究紀要等についても機関リポジトリを使っていることが多いので、印刷の必要はないのではないかと考えております。	媒体
22	投稿者の許諾が得られれば、掲載内容をホームページ上で広く公開できるとよいと思います。印刷製本・会員への郵送もなくし、会員ページ上での公開とすればコストを抑えられ、その分年会費を安くできれば、若い職員も入会しやすくなるのではないかと思います。	媒体
23	WEBでいいと思います。	媒体
24	個人的に論文投稿に向けて学ぶ機会はいろいろあると思いますが、もしも、JUAMの所属教員、研究者あるいはベテランの職員の方から、投稿初心者向けのガイダンス（オンライン配信など常設のコンテンツ）などを企画いただければありがたいと思っています。	奨励・アドバイス
25	学術誌よりも、会員が求めているのは、大学現場でためになる情報であり、それがまとまった情報誌ならば是非見たい。一部の教員に近い研究者としての職員の活動に光をあてても、多くの大学職員は引くと思う。	実践・実務

26	学術論文様式の者が多いため、大学行政、マネジメント実務者として有用性が低いように感じる場合があります。学会のミッション達成のための学会誌として位置づけるのであれば、実践事例報告、政策研究など、多様な論考の受入れが必要に思われます（学術論文は大学紀要等、投稿先は数多くあります）。	実践・実務
27	簡単ではありませんが、諸外国のように大学職員が大学院修士・博士で学ぶことが当たり前になって、学会誌の質も維持向上してほしいと思います。勝手なことを書きましたが、学会誌を支えてくださっているみなさまに感謝しております。	質
28	依頼執筆を採り入れても良いと思う	執筆
29	学会誌編集委員会は、投稿者に寛容な、応援するような姿勢であってほしい。	委員会
30	会員数拡大のために、学会への投稿論文できる場があることは有効であると思う。しかし論文を投稿する目的や意義が職員には希薄であることが問題だとも感じる。	その他
31	あまり積極的に関わっていないので申し訳ないのですが、現在行われている研究内容や、遡って誰がどのようなテーマの研究を行っていたかを知ることができる資料なので、今後も継続してほしいです。	その他
32	あり方ではないが、各テーマ別、地区別研究会や研究集会で事例研究を多く取り上げていると思うので、それらを掲載していただけないだろうか。研究会は対面で参加し、参加できなかった方には学会誌でみるというようなこと。	その他
33	学会の位置づけ、方向性とも連動するのでそこが決めればおのずと明確になるのでは。	その他
34	JUAMにおいて学会誌が必要なのか（そもそも学術団体であるべきなのか）は、真剣に向き合わねばならないテーマであると思う。他の学会と会員の属性が異なり、アカデミックな活動をピアで支える人材がほとんどいないという団体では、学術団体としての学会誌のようなものは必要ないのではないか。	その他
35	投稿する機会（大学職員が学術誌に投稿するというチャレンジを促す）を増やすことが目的なのか、あくまで内容の高度さを求めるのか、どちらに向かっておられるのかによって、学会誌の位置づけが変わるように思います。個人的には、多くの方に門戸を開き、職員による研究活動の背中を押す存在であって欲しいと思っています。	その他
36	本学会の会員資格だけを考えると、本会誌を「学術誌」と考えるべきかは検討が必要と考える。一定の論文数はいわゆる学位等の専門性を持った者による執筆と査読を踏まえたいいわゆる「学術論文」の数があることを前提にしていないと「学術誌」と呼称すべきかは検討の余地があるのではないかと。（事実関係に誤認があれば読み捨ててください）	その他
37	「学術誌」である必要は全くないと考える。多くの会員は、「学術的価値」をJUAMに求めているとは到底思えない。会員は、自大学内だけでは得られない人的ネットワークや職業的訓練・自己研鑽の場を求めて学会に加入している。研究者志向の学術的トレーニングの場を求めているわけではない。そのようなニーズ実態を踏まえて、学会誌のあり方を再考すべき時期に来ているのではないかと。そうでないと、会員数はこのまま減り続けてしまうように危惧する。	その他

G-1.学会ホームページの利用（閲覧）について。コメントがあれば自由に記述してください		
1	文字が盛りだくさんなので、タイトルをクリックすると別ページに飛ぶなど少しレイアウトをシンプルにした方が良いと思う	レイアウト
2	もうレイアウトなども含め、古い。	レイアウト
3	もう少しみやすくなるとうれしい	レイアウト
4	ごちゃごちゃしている。	レイアウト
5	ちょっと見にくいです。	レイアウト
6	更新が滞っているページがあるので、全般的にチェック体制を整えるべきではないかと考える。	更新頻度
7	もう少しワクワクドキドキするような匿名などのSNS型であってもよいと思う。	コンテンツ
8	会員専用ページについて使い勝手が良いとは言えないと思います。	コンテンツ
9	紹介したいまたは学会員執筆の書籍紹介等の項目も設けて欲しい	コンテンツ
10	操作性が悪く、日常的に閲覧したいようなコンテンツがない	コンテンツ
11	リレーコラムを復活させてほしい	コンテンツ
12	ログインしにくい、わかりにくい	アクセス
13	学会の研究資産の検索にもっと力を入れても良いのではないかと思います。	DB
14	すっきりしていてとてもよいと思います。トップ画面も情報も整理されていて、見たい情報がスムーズに探せます。（過大な画像や動画がいきなり再生されたりするトップ画面は不要だと思います。）	満足
15	情報が更新されていないかなど、たまに訪問する程度ですが、活用しています。	満足
16	お世話になっております	満足
17	素晴らしいと思います。	満足
18	メールで更新案内が届くのですが、本文中のリンクが大抵アクセスできないのをなんとかして欲しいです。	その他
19	必要性を感じないのでf bで良いのではないか。	その他
20	必要になったときだけ確認しています。	その他

G-2-a.学会ホームページについて		
【5.満足】		
1	会員目線でのレイアウトで構成されているので満足しています。	レイアウト
2	何も不満に感じる点はない。	その他
3	機能として十分である。	その他
【4.やや満足】		
4	スッキリしていて、わかりやすいと思う。	レイアウト
5	ほしい情報が見つけやすい	レイアウト
6	適宜更新もあり多少地味なのかもしれませんが情報発信としての機能は果たしていると思います。全体的に少し字が小さいと思います。(ブラウザの機能で拡大はできますが)	レイアウト
7	展開のある研究会とない研究会とがあり、各研究会における更新頻度がリアルタイムでなされると良いのではないかと思います。	更新頻度
8	ホームページは華美である必要はなく、必要な情報が入手できれば良いと思いますが、その部分について過不足はないため。	コンテンツ
9	当会を知る地図としての役割です。会員の書籍紹介とリレーコラムが特によいです。	コンテンツ
10	必要な情報があるときには参照しています。	コンテンツ
11	研究会・委員会の「新着情報」のページで、記載方法が統一されているので分かりやすいと思います。もし、開催するテーマや題名まで入っているとすぐに一覧できるので、表示は長くなりますが、わかりやすいと思います。	イベント
【3.どちらともいえない】		
12	運営者の方々のご尽力で、安全に使える基盤づくりがなされているため。	満足
13	前述の通り最新の情報内容にページを維持すべき。	更新
14	会員として目的をもって利用する分には特に問題を感じない。会員になることを検討しようと思って見る人の目線で見たことがない。	その他
15	もう少し情報が欲しいところですが、管理運営されている方のご苦労は大変だと思います。	その他
16	アーカイブとしての利用が主で、発信、展開としてはあまり利用できていない。	その他
17	見やすいと思います。ただ、頻繁に見るものではないなと感じました。	その他
18	見たことがない（存在を知らなかった）	その他
19	内容は充実していると思いますが、会員ページがわかりにくいです。	コンテンツ
20	他大学の大学職員募集の求人情報もあってよいと思います。	コンテンツ
【2.やや不満】		
21	もう少し見やすくなるとうれしい。（イベント一覧のカレンダーなど）イベント別の一覧もあると利用しやすいと思います。	表示/イベント
22	ごちゃごちゃしている。レイアウトが古い。	表示
23	見づらい。検索しにくい	表示
24	見づらく使いにくい	表示
25	必要なことは書いてありますが、魅力的ではないと思います。	その他
26	メールで多くの情報をいただいているため	その他
27	全国横断的な組織としてももう少し外への発信を増やした方が良い（会員のみが多い情報が多いと感じる。）。	コンテンツ
28	あまり情報がない。（あまりデータベース化されていない）情報が古い。	コンテンツ
【1.不満】		
29	スマートフォンで見づらいため	表示
30	スマホで閲覧しづらいです。	表示
31	一部の会員の実績作りの場になっているので、誰もが情報を投稿できるしくみにしたら（SNS）よいかと。	投稿

G-2-b.学会ホームページのあり方について意見があれば自由に記入してください。		
1	会員専用ページが使いづらいので、改善してほしい。	ユーザビリティ
2	お知らせ欄やニュース欄が読みにくいと感じる。	ユーザビリティ
3	わかりやすく、ログインしやすく	ユーザビリティ
4	見にくい	ユーザビリティ
5	アクセス解析でPCとスマホ利用を比較していただき、スマホ利用者が一定数いらっしゃれば、スマホでの閲覧にも対応するホームページへリニューアルをお願いいたします。	ユーザビリティ
6	ビジュアル化も含めて、もっと魅力のあるものにしたいと思っています。	コンテンツ
7	学会の趣旨のひとつとして「全国の大学横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるための専門組織」という考え方があったはずで、ホームページはまさに全国の大学横断的な情報発信の拠点となるべきものである。JUAMでの活動内容、啓発となるコンテンツ、研鑽を深めるためのきっかけとなる情報を広く全国の大学関係者に知ってもらえる仕掛け、工夫を考えるべきではないか。	コンテンツ
8	大学職員にとって、学会とは敷居が高いものと想像します。学会員新規獲得に向けてどうアピールするか、最初のとっかかりとして、HPの表現が重要になると思います。	コンテンツ
9	研究会等に所属していれば分かるのかもしれませんが、学会の全体像を把握しようとしたときに、分かりにくいように思う。	コンテンツ
10	HPを視るワクワク感、ドキドキ感、見るのが楽しみになる感、が少なく感じます。リレーコラムなどは面白かった。	コンテンツ
11	残念ながら、一度も見たことがない。もっと見たくなるようなものになればと願う。	コンテンツ
12	JUAM会員リレーコラムの内容を毎回興味深く拝読させていただいております。	コンテンツ
13	広報委員会で担当しているが、ホームページのプラットフォームにこだわりすぎないことを願う。facebookやスレズといった媒体も含め、積極的に展開してはどうか。	他ツール
14	会員限定で、テーマ別チャットルームのような、気軽に同じ関心をもつ会員同士でコミュニケーションがとれる場があってもよい気がするが、安易に質問する場にならないかという心配もあり、またプッシュ型でなければHPまで見に行くことはない気もする。	コミュニティ
15	学会ではありますが、純然たる研究者のコミュニティとは異なるユニークな学会だと思いますので、参加へのハードルが下がるような仕組みだと会員増にも良い効果があるのではないかと思います。	コミュニティ
16	Webサイトが健全に運営(適宜更新)されていることで、ある一定の認知度を維持できて、形骸化していないことの証明にもなると思います。(他者に紹介したときにもよい印象を持ってもらえると思います)	更新
17	欲を言えばきりがないが基本的にボランティアで運営するものだから、持続可能なようにシンプルに最低限の情報を掲載すれば十分である。	現状維持
18	ひとまず、現状維持で良いと思います。新しい技術、特に認証方式が出来れば、対応して会員・会員予備群となる方々の使いやすさと、外部への発信のし易い媒体となって行けばと存じます。	現状維持
19	良く運営されているものと理解しています。	現状維持
20	このままで良いと思う。	現状維持
21	グーグルサイト等の無料のサービスで同等の価値を創出可能と考えています。もし、ホームページの運用管理に予算を使っているのであれば、それは空費ではないでしょうか。	その他
22	役員の皆様、学会の運営に尽力頂きありがとうございます	その他
23	堅苦しすぎない形がいいのではないかと思います	その他
24	可能であれば、JUAMのMLは、かつての京都大学Asagao_MLや桐蔭学園Tulip_MLのような、高等教育にかかる諸情報を発信する媒体であってほしい。	その他

H-1. 学会事務局の会員支援体制について、支援状況・情報提供・対応などの観点を踏まえ、意見があれば自由に記述してください。		
1	大学行政管理学会会員は成長する意識が高い者が集まっています。大学間同士の人材の流動性を高めて多様な価値観を持った職員を受け入れる体制を構築するべく、JUAM会員に限った大学職員求人募集	連携・人的資源
2	事務職員の雇用の流動化が進んでいると感じるので、会員と会員校のマッチング(人材紹介や人材バンク的なもの)も検討してはどうかと思います。	連携・人的資源
3	もうあるのかもしれませんが、業務上でこういうことに困っているとか、知りたいという情報があった時に手軽にスレッド等で聞くことができる機能というサービスがあるといいですね。あとは、就職や転職もしくは学生アルバイト等の情報など。	連携・人的資源
4	現状でも十分ではありますが、将来的にはSlackなどオンラインツールを活用して、気軽に意見交換ができるようになると良いのかなと感じます。それぞれの業務経験や専門性を活かして、「何かあったときにこの方に聞いてみよう」と思える心地よさ・気軽さが特に20代職員には求められているのかもしれません。	連携・人的資源
5	会員数が減っていく中、事務局体制も大変かと思います。学会自体のあり方や支援の仕方も再考のタイミングなのかもしれません。このままの会費では会員数はよほど魅力あるコンテンツがないと減る一方でしょう。学会を維持するために少数、高額会費にするか、他団体(大学マネジメント研究会など)との合併も考えられるかと思います。	組織・運営
6	2年で任期となる理事・常務理事、3役と事務局長、市ヶ谷オフィスによるサポートなど、これまでのやり方を最大限駆使されている一方で、ファウンダーの方々から代替わりを経て学会に所属するメリットを感じない会員も多く、3役や事務局長などをやってみたいと思う方が今後いないようであれば、大変問題である。会員を増やすことも大切であるが、学会を運営する側の人財育成や制度改定も喫緊の課題ではないか。	組織・運営
7	理事選出について、再考いただきたい。	組織・運営
8	いち新参者の視点ですが、どうも全体の活動の様子が俯瞰できないので、個別に研究会への参加はできても、全体の活動にどう参画できるのか、どのような位置づけの活動を行っておられるのかがわかりにくいと感じています。また、各研究会等も参加者ではなく研究会メンバーに積極的に加われるような仕掛けが欲しいところです。	組織・運営
9	学会は学会員の個人・グループが自主的に活動していくことが基本だと思います。その上で事務局が側面支援する形が良いのではないかと思います。事務局だけが動き過ぎるのも何か違うような気がします。事務局は執行部の下支え・補佐する立場で良いのではないかと思います。	組織・運営
10	年会費の領収書が必要な際、「書面に領収書の記載情報を明記し、返信用封筒を同封し、ご連絡ください」は時間と資源の無駄です。同額の年会費を徴収している某学会では、領収書は自動発行です。	組織・運営
11	研究会の案内メールの他に、特に支援活動をされているイメージが無い。もう少し各大学・職員間を繋ぐ企画等、積極的に動いていただける運営事務局となれば良いと感じる	事務局
12	市谷オフィスの皆さんはよくやってくれています。しかし、どうしても出来ることに限界があり、ここをどう効率化するかが課題です。必要に応じて、RPAの導入、生成系AIの活用など、業務の効率化も必要かもしれません。	事務局
13	事務局運営の業務負担を減らし、会員への情報提供・支援に労力を割けると良いと思う。	事務局
14	投稿や研究発表など、やってみたいテーマに応じて仲間を紹介できるような仕組みがあると、学会活動がより活発になるのではないのでしょうか。(仲間探しも含めて自発的に動いていただくのがもっとも望ましいのですが)	運営
15	研究会によって予算支出する項目が異なると思いますので、見合った予算(費用)請求を許可していただきたいです。具体的には、ファシリティマネジメント研究会として、訪問校の好意で活動が維持できている事もあり、手土産は経費として認めていただきたいです。	運営
16	体系的に支援する。セミナーのオンデマンド化	運営
17	多岐にわたる活動があるが、時間的制約もあって参加が難しい面もあるので、発表資料等のデータベース化を進めていただけるのは有難い。	運営
18	総会や研究集会等を除くイベント案内のメールだけ、受信の有無を選択式にできると幸いです(この種のメールだけ件数が多く受信通知が頻繁に届く一方、他の情報より重要度は低いと思われるため)。	情報発信
19	文科省のWebページではないが、中教審の部会等の情報を流しても良いのではないかと思います(既に多くの会員が文科省のメーリングリストに登録していると思いますが・・・)。大学職員としての情報入手の方法を伝えることも大切かと思います。	情報発信

20	自ら動こうとする者の集まりだと思いますので、特に意見などはありませんが、新しい（若い）世代への働きかけは必要かと思いました。	その他
21	教職協働を実質化するためには、職員の業務レベルや深い知見をもっていることは必要です。それを実践できるのが、この行政管理学会だと思っています。ですので、文科省などに意見を言える立場になれば（例えば委員に選定されるなど）と思っています。	その他
22	どのように学会活動してほしいのか。会員の学会活動のモデルのようなものがあるのか。：大学の学生に例えると、その大学に入学した学生の支援体制を考える時に、どのような学生に入学してほしいのか、どのような学生になってほしいのかを考えて支援体制を構築しているのではないか。	その他
23	新型コロナ禍でも、リモートワークなどで我々会員を支えて頂きありがとうございました。会費の郵便振替がなくなったのは、事務運営上やむを得ないと今は理解しております。また、学会誌編集にあたっても、特に査読の過程でこの10年で大幅に配慮がなされました。関係各位に心から感謝申し上げます。	その他
24	こまめにたくさんの情報を送っていただけるのは、受け身的ですが助かっています。会員の方々の活動やイベント情報の内容を見るだけでも、現在の大学を取り巻く環境やみなさんの関心事を知ることができるためです。	その他
25	事務局の皆様にはいつも大変お世話になっております。とても丁寧に、迅速にご対応いただき、とても助かっています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	その他
26	ご多忙のなかいつもありがとうございます。不満はありません。ただ、支援してくださる方への支援が必要かと思います。（次項関連）	その他
27	現在の事務局構成からするとかなり業務を負担していただいており、これ以上のことは望めないと感じている。	その他
28	事務局の方々には大変お世話になっております。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。	その他
29	皆さんにいつも丁寧に迅速に対応いただいていると思います。ありがとうございます。	その他
30	いつもご支援をいただきありがとうございます。感謝しております。	その他
31	十分にご尽力いただいていると存じます。ありがとうございます。	その他
32	いつも献身的にご支援・ご尽力いただいております、感謝しかない。	その他
33	とくにありません。いつもおとりまとめ頂き感謝しております	その他
34	いつも適切なアドバイスをありがとうございます。	その他
35	みなさまの献身的な活動に感謝しかありません。	その他
36	少人数で業務をよく遂行されていると思います	その他
37	大きな規模の中、日々本当に感謝しています。	その他
38	必要な支援は得られていると思います。	その他
39	特になし。お疲れ様ですの一言です。	その他
40	事務局はきちんと対応してくれる。	その他
41	お疲れ様です。大変だと思います。	その他
42	いつも大変助かっております。	その他
43	感謝しかありません。	その他
44	このままで良いと思う。	その他
45	特に問題は感じない。	その他

H-2. 大学行政管理学会の活動についてご意見・ご要望があれば自由に記述してください。

1	新しい（若い）世代への交代・継承が課題かと思います。業界を取り巻く環境、未来に対して提言やアドバイス（コンサルティング）ができるようになると厚みがでてくるように思います。	目的・趣旨
2	事務局、役員の皆様には、ご尽力いただきありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。大学経営が厳しさを増す中、特に若手の職員が希望や勇気をもって仕事に臨めるよう、相互の研鑽と励ましあいのできる活動を多く企画いただければありがたく存じます。	目的・趣旨
3	会員数が減少傾向にあるとのことで、最近の若い職員の価値観の変容にも影響があると思います。会員にならずとも、単発のセミナー等に参加できればよいという人も多く、また、オンライン開催（無料）の企画も世の中にたくさんあり、日々様々な団体が似たようなことをやっています。その中で、自分のプライベートな時間とお金を割いて学会に入るメリットをいかに打ち出していくかが、難しいですが肝要なように思います。	目的・趣旨
4	最近、若手職員の仕事に対する考え方の大きな違いを感じる。特に、ライフワークバランスを重視し、業務への自己研鑽意識の低下は否めない感覚がある。大学職員の自己研鑽の場である本学会としては大きな向かい風を感じる。個人的には、会員数の減少等は気にせず、業務に対する意識の高い方を対象にすれば良いのではないかと。ただ、若手職員の意識の低さは大きな課題であり、本当に大学が危機を感じたときにどうこうするのでは遅いので、本当は若手職員にも積極的に参加してほしいところではあるが。	目的・趣旨
5	若手会員の親睦の場と化している。これが近年の大きな特徴だと思います。結構なことだと思いますが、中堅、ベテラン層の奮起に期待したいと思います。これはJUAMだけの課題ではありませんが、全世代の会員が活躍するようにならないといけないと思います。日本はもはや先進国ではないと言われます。高等教育の役割は重大ですが、関係者の危機感が希薄のように感じてなりません。大学運営の精鋭人材が集結し、全国の職員をリードすることが使命のひとつです。現役ではないロートルが勝手なことを述べさせていただきます。ご了承ください。	目的・趣旨
6	いつの時代も、「学びと励ましのネットワーク」を標榜する学会であってほしい。	目的・趣旨
7	研究団体を志向するならきちんと研究活動を、職能団体を志向するなら行政や各大学への働きかけを、もっと進めて欲しい。	目的・趣旨
8	学会として、Guideline作成や提言など、医学系の実践的な団体を目指するなど、こういった組織を目指すのか、具体的なイメージがあっても良いのではと思います。	目的・趣旨
9	学会の存在および活動については入会段階から大変お世話になり、また有り難く思っています。そのうえで、今後の発展的な持続可能性という観点からの言及です。「学会」という組織特性を保持しながら、実務家の多い組織構成の中で、目指すべき方向性を見定めることは困難を伴うと思いますが、一部の方の集まりというようなイメージを持たれることなく、大学職員の専門化や職能開発、業界の発展に寄与する組織であり続けて欲しいと思います。	目的・趣旨
10	職員の地位向上団体としての役割は終わったと考える。したがって、ただ会員数を増やしたいといった発想で運営するのは反対である。職能団体としてのポジションを確立させたいのであれば、（過去に検討されたことがあったような気がするが、）体系的な教育プログラムを立ち上げるなどの努力が必要。だからといって今のままでは学術団体には到底なれない。そういう意味で学会とは言えない「学会」という名称を冠する団体として、どこを／何をを目指したいのか、明確なビジョンを打ち出し、場合によっては痛みを伴う改善が必要かもしれない。	目的・趣旨
11	「学会」という名称を廃し、大学の経営管理に従事する教職員のための開かれた職能団体として再出発すべき時期に来ているのではないかと。事務系職員がJUAMの場を利用して学術的活動を行ない、教員に転身することが、あたかも成功事例のように捉えられていること自体が、実務家としての職員のエンパワーメントという当初のJUAMの設立趣旨の自己否定になっているのでは。職員が学術的素養を磨くこと自体は否定しないが、それだけで終わってしまえば実務家としての職務を放棄したのと同じである。どこの大学でもプロとして実務を担っていける（海外の大学であっても）、高度職業人としての大学職員の養成を行なっていく組織であるという矜持を、いまいちど再認識すべき。	目的・趣旨
12	使命は果たしたとみて延命措置にこだわらず、解散を視野においてもよいと思います。	目的・趣旨
13	若手や新規加入者獲得のため、JUAMに所属するメリットなどを現在の大学業界の環境に照らし合わせていく時期になっているような印象を受けます。	目的・趣旨
14	益々の発展を期待します。非会員でも参加できる多くの活動をご案内いただいております、会員を増やすということは、なかなか相反する難しい課題かと思いますが、ペースは現在の考え方で良いのではないかと個人的には感じております。	目的・趣旨
15	JUAMでの活動が各大学で評価される様、地位向上に努めていただきたい。	地位向上

16	社会に対する存在感を示すためには、学会としての様々な意見表明や意思表示も今後必要なのではないかと考えています。	地位向上・情報発信
17	最近、私立大学協会の「教育学術新聞」にもたびたび活動が取り上げられており、ますます学会の存在価値が高まっていると思います。役員の皆様のご尽力に頭が下がります。	地位向上・情報発信
18	今後は、AIによる業務改革、生成系AIによる教育の変化、令和の大合併などが予測されるので、それらの情報、事例報告があればうれしい。	企画
19	学会ですので当然アカデミックな内容が重視されるのですが、その一方で身近なグッドプラクティスの紹介のような実用的な業務改善事例なども紹介できるとよいように思われました。	企画
20	自身が所属している研究会の活動で精一杯で、学会全体や他の研究会がどのような活動をされているのかわかっておりません。申し訳ございません。引き続き、研究活動の支援をお願いいたします。	企画
21	会員が減少傾向にあるのは寂しい限り。未会員からは意識高い系・ハードルが高そうなどという声もよく聞く。また、実務直結型の研修会を求める声もよく聞くので、そのような研究会があってもよいのではないかなと思う	企画
22	「若手対象」とした研究会の告知が最近は多く、年齢的に、少し参加のし難さを覚えます。	企画
23	現時点では、入会したものの勝手がわからない状況ですが、総会ではガイダンスのような時間を企画いただいているようなので、それを聞いてから学会活動を本格化できるようにと考えています。 そのガイダンスの内容がわからないので何とも言えませんが、汎用性の高い内容であれば、直近の総会でのガイダンス動画を新規入会者が閲覧できるようになっていれば新設かもしれないと思います。	企画
24	育児中でも集まれるようなカフェ形式の溜まり場があるとありがたい。（こどもも連れて参加できるような）子どもが小さく、家事・育児の負担と業務の負担で本格的な学会活動までの時間は少ないが、他会員との仕事や育児・家庭のことなどの共有などが出来る場があるとよいと思う。	企画
25	会費分に見合うサービスを会員に提供するか、ほぼすべてのサービスが会員の自給自足になる代わりに徹底して会費を下げるか、どちらかに舵を切りきっていただけると幸いです。例えば学会誌の製本・印刷・送付をやめて電子媒体のデータ共有のみにすれば、会費はいくら下げることが可能でしょうか。現行は、会費が高いのにサービスが低いというコストパフォーマンスが悪い状態にあると認識しています。	組織・運営
26	・役をお持ちの方々にとって、本務業務との両立で可負担になっているところがあるのではないかと心配です。 ・たとえば、退職後に退会？される方やシニア（エルダー？）もいらっしゃいますが、そうした熟練された方（＝かなりの実力がおあり）の方々にこそ、今現役職員が両立して対応している役などを持っていたいたり事務局運営で活躍していただくとwinwinかと。 ・会費の有効活用として、少しその方々にお手当などを出すのもいいかと思っています。	組織・運営
27	本会の趣旨には賛同したため、現在会員です。また職員としての大学での地位向上も是非図っていただきたいと思います。より多くの会員、見込み職員のニーズを捉えるような活動を、本学会の継続的活動のため、期待しています。	組織・運営
28	学会活動の活性化をさらに促進させ、会員数を増加させ、スケールメリットを感じるような組織になって欲しい。	組織・運営
29	どのような人がどのような活動をしているか見えない。わかりづらい。	組織・運営
30	総じて個々の活動の総体、という状態になっているように見える。今一度、会全体として普遍的なテーマ、加えて例えば各年度ごとにテーマを設定し、会員個々の活動も体系的なテーマの中での活動になっている、という状況を創出すると会の一体感のようなものが出てくるのではないかな。現状は積上げに依存しているように見える。	組織・運営
31	研究会の世話人について、後継者を公募できないか、検討いただきたい。	組織・運営
32	（その１）各研究会・グループのつながりが持てるような仕組みがあると良いように感じています。JUAM自体が各研究会・グループの集合体という活動形態のまま進むのであれば、横の連携は必須だと考えます。 （その２）名古屋大の教務実践研究会が取り組んでいるような、研修に近い活動をJUAMとして実施できると、様々な職員が興味を持てるのではないのでしょうか。教務実践研究会は、1回の研修に500人近い参加者があり、口コミや組織内の評判で、同じ大学内での参加者が続くとも伺っています。例えば、会の名称にある「大学行政管理」につながる「大学業界における管理職育成プログラム」等の取組を試行的に実施することも一案かと思っています。	組織・運営

33	事務運営などは本当に皆さんの尽力でより良い方向に向かっていると思います。ただ、役員人選では、より硬直化している様な気がします。ダイバーインクルーシブ（多様性と創造性の両立）の面から、人事部で取り組まれている様な各機関での役職定年者層、若手・女性が役員として参加できる様な場の醸成が学会全体としてなされればと存じます。（退会者を減らし、より魅力ある学会づくりの為に）	組織・運営
34	理事によって学会への貢献度が大きく異なるので、実質的に貢献してくれる方に理事に就任してもらうようにしてほしい。	組織・運営
35	入会することにより得られるメリットのアピールや、年会費の見直し等により入会者を増やすような取り組みが必要と思われる。	組織・運営
36	不活発なテーマ別研究会については、常務理事会が積極的に関与してはどうか。テーマ別研究会運営委員会（仮称）などを設置し、各研究会の活動を毎年度点検・評価し、常に一定水準の活動を維持することが肝要ではないか（運営委員会（仮称）ではなく、常務理事会でも構わないと思いますが）。	組織・運営
37	研究グループの入会方法がわからない。	組織・運営
38	役員のメンバーや各研究会の中心メンバーが固定的になっている感があり、「仲間内」での活動に見え、新たな風が入りにくい体制になっているようにも思う。単に新人会員をプラスして改善できる課題ではなく、既存会員（特に管理職層）の循環を促す方策が、活性化を図る上で必要と感じる	組織・運営
39	学会の維持、ホームページや学会誌の作成等、労をとられている皆様に改めて感謝申し上げます。本学でも会員数が減少しておりますが、今一度大学職員の繋がりを活性化できると良いと思います。今後ともよろしくお願いいたします。	その他
40	特になし	その他
41	概ね満足しています。	その他
42	さらに活発な活動を期待します。	その他
43	今後とも、引き続き、よろしくお願いします。	その他
44	これから20年30年と発展することを祈念します。	その他
45	大学職員は全員が学会に入ると良い気がします。自分のためにも。	その他
46	学会が自分に何をしてくれるのかではなくて、自分が主体的に学ぶ姿勢が基本だと思います。	その他
47	継続と情報発信に期待しています。	その他
48	会長や事務局など、執行部はご苦勞されていますが、維持拡大できるように頑張ってください。	その他
49	大学の現場で起きていることは、当学会が一番わかっていると自他ともに認められる存在でありたい。	その他
50	中心となって活動されている皆さんには大変感謝しています。	その他
51	研究会メインの活動には、不満がありません。仕事をしている上でのなにかしらのサポートがあるといいです。	その他
52	3役および理事の皆様の献身的なご尽力に感謝しております。ありがとうございます。個人としてもお役に立てるよう努めたいと思います。	その他
53	先人たちが立ち上げてくれた意義深い活動・組織です。これからもなお一層の繁栄を期待しております。いつも本当にありがとうございます。	その他
54	会員でありながら、研究活動等をしていませんが、交流の場と考えて総会や研究集会、各部会開催のイベントで興味があるものに参加しています。	その他
55	学会なので、相応の質を保ちながら活動を継続し、発展させていく必要があると思っていますが、個人的にそこまでコミットできず申し訳ないと思っています。できる限り、にはなってしまうかもしれませんが、今までいただいたものを還元できるよう活動していきたいと思っています。	その他
56	いつも本当に助けられて、元気をもらって感謝しかない。その一方で、今後も継続して会員として活動していけるのか、不安もある。勤務校あつての会員活動であるため、バランスが大切であると痛感している。色々コメントを入れたが、学会の今後ますますの発展をお祈りしつつ、個人で出来ることは努めて参りたい。引き続きよろしくお願いいたします。	その他
57	あまりお役に立てていませんが、大変有意義な活動であると思っています。	その他